# 【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 有価証券報告書の訂正報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の２第１項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2023年10月３日 |
| 【事業年度】 | 2022年度（自　2022年１月１日　至　2022年12月31日） |
| 【会社名】 | フランス相互信用連合銀行（ＢＦＣＭ）<br>(Banque Fédérative du Crédit Mutuel) |
| 【代表者の役職氏名】 | 最高経営責任者<br>(Chief Executive Officer)<br>ダニエル・バール<br>(Daniel Baal) |
| 【本店の所在の場所】 | フランス、ストラスブール67000、リュ・フレデリック－ギヨーム・ライフアイゼン４<br>(4 rue Frédéric-Guillaume Raiffeisen - 67000 Strasbourg, France) |
| 【代理人の氏名又は名称】 | 弁護士　　三　原　秀　哲 |
| 【代理人の住所又は所在地】 | 東京都千代田区丸の内二丁目７番２号 ＪＰタワー<br>長島・大野・常松法律事務所 |
| 【電話番号】 | 03-6889-7125 |
| 【事務連絡者氏名】 | 弁護士　　今　野　恵一朗 |
| 【連絡場所】 | 東京都千代田区丸の内二丁目７番２号 ＪＰタワー<br>長島・大野・常松法律事務所 |
| 【電話番号】 | 03-6889-7125 |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当事項なし |

## １【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2023年６月29日提出の有価証券報告書（事業年度自2022年１月１日至2022年12月31日）の記載事項の一部を訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## ２【訂正事項】

第一部　企業情報
　第２　企業の概況
　　３　事業の内容
　第３　事業の状況
　　２　事業等のリスク
　　３　経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
　第５　提出会社の状況
　　３　コーポレート・ガバナンスの状況等
　　（１）コーポレート・ガバナンスの概要
　　（２）役員の状況
　第６　経理の状況
　　１　財務書類

## ３【訂正箇所】

訂正箇所は下線で示しております。

# 第一部　【企業情報】

## 第２【企業の概況】

### ３【事業の内容】

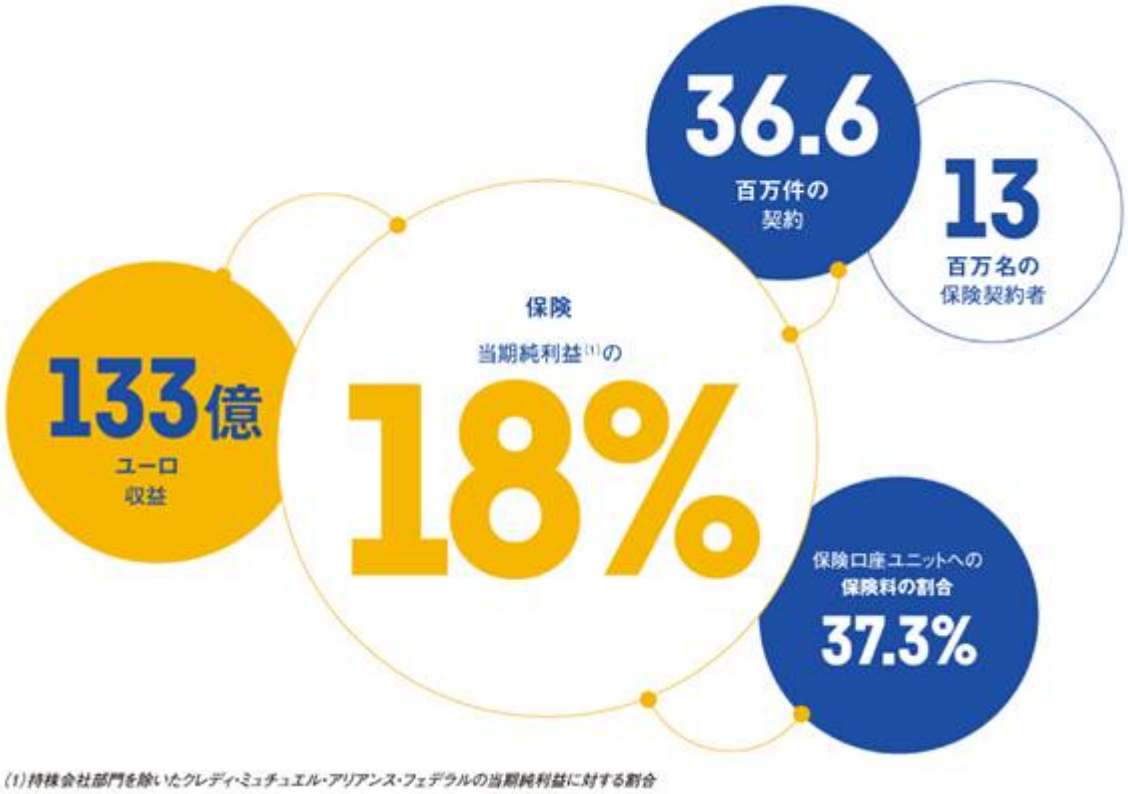
＜訂正前＞

＜前略＞

**３　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの事業分野の表示**

＜中略＞

**3.2　保険部門**




＜中略＞

**3.3　専門事業分野**

*3.3.1　アセット・マネジメント及びプライベート・バンキング*

＜中略＞

*3.3.1.1　アセット・マネジメント*

＜中略＞

**グループ・ラ・フランセーズ**

＜中略＞

単一ブランドであるラ・フランセーズ・リアル・エステート・マネージャーズ（REM）という一つのブランドのもと、不動産アセットクラスにおける主要プレイヤーとして、ラ・フランセーズは、顧客、機関投資家、個人のニーズに対応している。同社は、不動産資産の運用・管理・開発の各段階に特化した専門家チームを擁し、不動産管理のバリューチェーン全体に存在感を示している。2022年度末現在、ラ・フランシーズREMの運用資産は2021年度比９％増で327億ユーロを上回った（そのうちフランス以外は23%であった。）。金融資産部門は、その子会社であるラ・フランセーズ・アセット・マネジメント（La Française Asset Management）を通じて、強固に持続可能な債券と株式ソリューション、クロス・アセット・マネジメント、クオンツ商品、プライベート・エクイティに関する専門知識や革新的な運用担当者等、ニッチな専門知識を提供している。同社は、献身的なプレイヤーとして、運用チーム全員を対象とした独自のSRIリサーチセンターを有しており、その結果持続可能性基準の高い商品を幅広く提供することが可能になっている。

＜中略＞

**3.4　IT、ロジスティクス及びメディア**

＜中略＞

**ユーロ－アンフォルマシオン・デヴロプマン（Euro-Information Développements）**

ユーロ－アンフォルマシオン・デヴロプマンは、グループの全てのIT開発を担当しており、16のクレディ・ミュチュエルの連合体、CIC銀行並びにクレディ・ミュチュエル及びCICの様々な事業分野で共有される情報システムの開発に責任を負っている。提供されるサービスの質、セキュリティ、データ保護、技術・開発の管理等の指針に従い、その必要性に配慮している。2022年度にEID開発チームの活動は横ばいであり、2021年度と比べて2021年度の生産人日は0.34%減少した。

＜中略＞

**ユーロ・プロテクシオン・シュルヴェイヤンス（Euro Protection Surveillance）（EPS）**

＜中略＞

---

*(1)出典：「Atlas 2022 En toute sécurité- Télésurveillance Résidentielle」*

*(2)スタティスタ（Statista）が2022年６月28日から2022年７月13日から20,000名の顧客に対して行い、2022年11月にCapital誌に発表されたオンライン調査*

＜後略＞

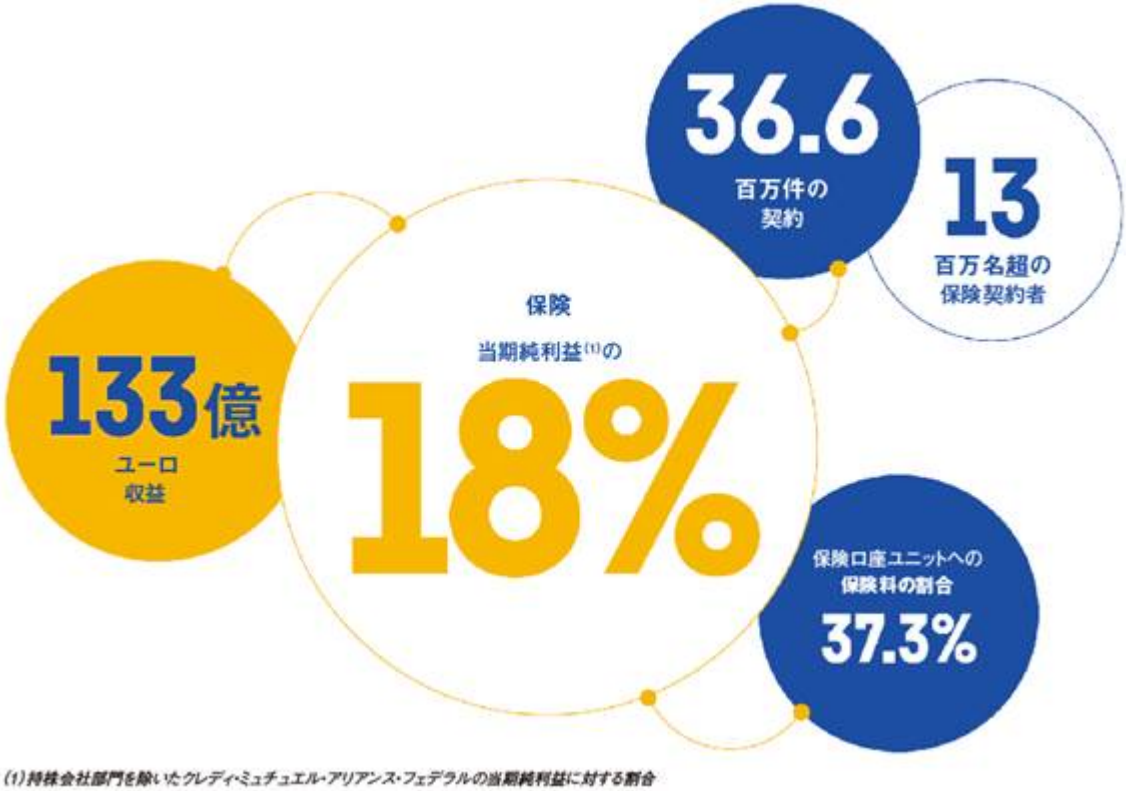
＜訂正後＞

＜前略＞

**３　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの事業分野の表示**

＜中略＞

**3.2　保険部門**




＜中略＞

**3.3　専門事業分野**

*3.3.1　アセット・マネジメント及びプライベート・バンキング*

＜中略＞

*3.3.1.1　アセット・マネジメント*

＜中略＞

**グループ・ラ・フランセーズ**

＜中略＞

単一ブランドであるラ・フランセーズ・リアル・エステート・マネージャーズ（REM）のもと、不動産アセットクラスにおける主要プレイヤーとして、ラ・フランセーズは、顧客、機関投資家、個人のニーズに対応している。同社は、不動産資産の運用・管理・開発の各段階に特化した専門家チームを擁し、不動産管理のバリューチェーン全体に存在感を示している。2022年度末現在、ラ・フランシーズREMの運用資産は2021年度比９％増で327億ユーロを上回った（そのうちフランス以外は23%であった。）。金融資産部門は、その子

会社であるラ・フランセーズ・アセット・マネジメント（La Française Asset Management）を通じて、強固に持続可能な債券と株式ソリューション、クロス・アセット・マネジメント、クオンツ商品、プライベート・エクイティに関する専門知識や革新的な運用担当者等、ニッチな専門知識を提供している。同社は、献身的なプレイヤーとして、運用チーム全員を対象とした独自のSRIリサーチセンターを有しており、その結果持続可能性基準の高い商品を幅広く提供することが可能になっている。

＜中略＞

### 3.4　IT、ロジスティクス及びメディア

＜中略＞

**ユーロ－アンフォルマシオン・デヴロプマン（Euro-Information Développements）**

ユーロ－アンフォルマシオン・デヴロプマンは、グループの全てのIT開発を担当しており、16のクレディ・ミュチュエルの連合体、CIC銀行並びにクレディ・ミュチュエル及びCICの様々な事業分野で共有される情報システムの開発に責任を負っている。提供されるサービスの質、セキュリティ、データ保護、技術・開発の管理等の指針に従い、その必要性に配慮している。2022年度にEID開発チームの活動は横ばいであり、2021年度と比べて2022年度の生産人日は0.34%減少した。

＜中略＞

**ユーロ・プロテクシオン・シュルヴェイヤンス（Euro Protection Surveillance）（EPS）**

＜中略＞

---

*(1)出典：「Atlas 2022 En toute sécurité- Télésurveillance Résidentielle」*

*(2)スタティスタ（Statista）が2022年６月28日から2022年７月13日まで20,000名の顧客に対して行い、2022年11月にCapital誌に発表されたオンライン調査*

＜後略＞

# 第３【事業の状況】

## ２【事業等のリスク】

＜訂正前＞

＜前略＞

**1. グループの銀行及び保険に関するリスク**

**1.1　信用リスク**

＜中略＞

a. 一つめの影響は、特に、COVIDのパンデミックによる危機が、ロックダウン期間中の活動及びキャッシュ・フローの急激な減少に対処するための大量の融資残高（特に政府保証融資によるもの）（2022年度末残高：132億ユーロ）を発生させていることから、**カウンターパーティーの契約上の義務の不履行から生じる財政的損失のリスク（債務不履行リスク）**に関連するものとなると考えられる。カウンターパーティーには、銀行、金融機関、商工業者、政府、投資ファンド、又は自然人が含まれる。このリスクは、資金調達業務（クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのバランスシートに表示される。）又は保証業務（バランスシートに表示されない。）並びにグループがカウンターパーティーの債務不履行リスクにさらされるその他の業務（特に、資本市場における金融商品の取引及び決済／受渡並びに保険関連業務。）に関連する。2022年12月31日現在、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの不良債権及び係争債権の比率は2.58%（2021年12月31日現在と同一。2020年度末は2.91%）に達した。リスク費用は、2021年度末は699百万ユーロであったのに対して、768百万ユーロであった。貸出金総残高に対する顧客リスク費用の比率は、2021年度は0.154%であったのに対して0.163%であった。グループは、正常貸出金の引当金のバッファーとして、特に2020年度に多額の計上を行ったこと（約14億ユーロ）により、33億ユーロ（2021年度は34億ユーロ）を有しているが、確定済リスクの費用がグループの最も悲観的な予測を上回った場合には、不十分となる可能性がある。2008年の金融危機後、グループの不良債権（NPL）比率は2009年12月31日現在4.68%まで上昇し、リスク費用は最大で当時の貸出金総額の0.77%に達した。

＜中略＞

c. グループの**不動産ローン・ポートフォリオ**（顧客への貸出金（純額）の51%、すなわち、2022年12月31日現在で約2,540億ユーロ）の規模が要因となり、主にフランスにおいて、**グループは不動産市場の変動によるリスクにさらされている**。地政学的危機と現在のインフレ状況、例えば家計の財政状況の悪化や失業率の上昇に関連した需要の落ち込みの結果、当該リスクの確率は高まる可能性がある。そのようなシナリオは、債務不履行の増加により、また不動産担保金融が行われている場合には、不動産市場が相当期間影響を受けた場合、担保として提供された住宅の価値低下を通じて、リスク費用に影響を与えると考えられる。2008年の金融危機後、ネットワークの不動産ローンのポートフォリオのリスク費用は２年間（2009年度及び2010年度）の間にバランスシート上の債務の0.10%に達した。2022年度において、ネットワークの住宅ローンにおけるリスク費用は重大なものではなく、2020年度と2021年度から大きな差異はなかった。COVID-19危機の直前である2019年度には、この比率は0.02%に達していた。

d. クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、主にフランスにおいて、特定の国家、取引銀行又は大企業グループに対して比較的高い単一のエクスポージャーを有しており、これらの一部は公的機関が実施する支援策（すなわち、政府保証融資）から恩恵を受けている。グループの最大顧客の一つ又はそれ以上が債務不履行に陥った場合、グループの収益性が低下する可能性がある。国家及び類似機関等（2022年度末の総エクスポージャーは1,890億ユーロ）については、グループは主にフランス（1,570億ユーロ）（主にユーロ・システムの加盟銀行であるフランス銀行（Banque de France）（約960億ユーロ））及びフランス預金供託金庫（Caisse des dépôts et consignations）のリスク（約390億ユーロ。規制貯蓄口座預金の集中化制度により、フランスにおいてソブリン・リスクとみなされている。）のエクスポージャーにさらされている。国家以外では、2022年12月31日現在、300百万ユーロ（純利益の10%未満に相当）を上回るオン・バランスシート及びオフ・バランスシート上の単一のエクスポージャーは、銀行に関しては７のカウンターパーティーについて約60億ユーロ、企業に関しては67のカウンターパーティーについて450億ユーロであった。これらのカウンターパーティーのうち複数が同時に格下げ又は債務不履行となる可能性は排除できず、その場合、グループの収益性に影響が及ぶと考えられる。

＜中略＞

**2. グループの活動及びマクロ経済環境に関するリスク**

＜中略＞

**2.2　金利リスク**

＜中略＞

６つの規制上のシナリオに従って決定されるクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのバランスシートの正味現在価値（NPV）の感応度は、普通株式等Tier 1資本の閾値15%を下回っている。2022年12月31日現在の普通株式Tier 1資本に対するNPVの下方感応度はマイナス8.74%であり、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、利回り曲線全体の上昇に影響を受けやすい。１年及び２年の純受取利息の感応度は、複数のシナリオ（下限を設定した100 bpsごとのレート増減、200 bpsごとのレートの増減）及び２つのストレス・シナリオ（利回り曲線の平坦化／逆転、並びに短期及び長期レートの停滞／インフレショック）に従って決定される。「代替的な後押しを伴うスタグフレーション」シナリオは、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルにとって最も好ましくないシナリオであり、２年間にわたる影響は、2022年12月31日現在、マイナス37.09%（マイナス2,944.69百万ユーロ）である。

＜中略＞

**4. グループの事業運営に関するリスク**

＜中略＞

**4.3　気候リスク**

＜中略＞

**b.　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのビジネスモデルは、以下の結果を招く移行リスクに影響を受ける可能性がある。**

- 過度にカーボンインテンシブなビジネスモデルにより、顧客が失われ、会社の収益性が低下する。
- リファイナンス費用が非財務業績に左右される度合いが高まる。
- エネルギー費用及び輸送費の増加。
- ファイナンス及びポートフォリオ上の有価証券がカーボンのタクソノミーに該当すれば、資本の積み増しが必要となる可能性がある。

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、そのセクター別方針により、介入の範囲を定義し、社会及び環境への影響（気候リスクを含む。）が最も重大な分野において事業を遂行するための基準を設定することが可能となっている。これらの方針はCIC全体で適用され、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの段階で監視されている。このため、企業、投資及び保険のポートフォリオ全てについて、セクター別方針に適うエクスポージャーを監視して、気候リスクに最も影響を受ける可能性のあるエクスポージャーの当初の測定値を提供している。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルには、石炭、鉱業、炭化水素、民間原子力エネルギー、防衛・安全保障、航空・海運・道路部門におけるモビリティー及び農業という７つのセクター別の方針がある。2022年12月31日現在、セクター別方針について適格な金額は、417億ユーロ（2021年12月31日現在は363億ユーロ）であり、そのうち企業ポートフォリオの残高は267億ユーロであった。このポートフォリオにおいて、石炭及び炭化水素のセクター別方針に関連するエクスポージャーの割合は、それぞれ0.56%及び17.01%であった。CISの直接及び間接カーボンフットプリントは、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの段階で計算されたデータに含まれている。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのフランスにおける直接カーボンフットプリント（グループのエネルギー消費、冷媒、保有車両及び出張に関連する。）は、2020年度から2021年度の間に１%減少し、その企業ポートフォリオのファイナンスの間接カーボンフットプリント（貸付百万ユーロ当たりのC02トン数かで測定）は、2021年度から2022年度の間に37%減少した。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの非財務業績と気候コミットメントに関する詳細については、「第一部　企業情報／第５　提出会社の状況／３　コーポレート・ガバナンスの状況等／（１）コーポレート・ガバナンスの概要／②社会的及び相互的責任」を参照のこと。

＜後略＞

＜訂正後＞

＜前略＞

**1. グループの銀行及び保険に関するリスク**

**1.1　信用リスク**

＜中略＞

a. 一つめの影響は、特に、COVIDのパンデミックによる危機が、ロックダウン期間中の活動及びキャッシュ・フローの急激な減少に対処するための大量の融資残高（特に政府保証融資によるもの）（2022年度末残高：132億ユーロ）を発生させていることから、**カウンターパーティーの契約上の義務の不履行から生じる財政的損失のリスク（債務不履行リスク）**に関連するものとなると考えられる。カウンターパーティーには、銀行、金融機関、商工業者、政府、投資ファンド、又は自然人が含まれる。このリスクは、資金調達業務（クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのバランスシートに表示される。）又は保証業務（バランスシートに表示されない。）並びにグループがカウンターパーティーの債務不履行リスクにさらされるその他の業務（特に、資本市場における金融商品の取引及び決済／受渡並びに保険関連業務。）に関連する。2022年12月31日現在、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの不良債権及び係争債権の比率は2.58%（2021年12月31日現在と同一。2020年度末は2.91%）に達した。リスク費用は、2021年度は699百万ユーロであったのに対して、768百万ユーロであった。貸出金総残高に対する顧客リスク費用の比率は、2021年度は0.154%であったのに対して0.163%であった。グループは、正常貸出金の引当金のバッファーとして、特に2020年度に多額の計上を行ったこと（約14億ユーロ）により、33億ユーロ（2021年度は34億ユーロ）を有しているが、確定済リスクの費用がグループの最も悲観的な予測を上回った場合には、不十分となる可能性がある。2008年の金融危機後、グループの不良債権（NPL）比率は2009年12月31日現在4.68%まで上昇し、リスク費用は最大で当時の貸出金総額の0.77%に達した。

＜中略＞

c. グループの**不動産ローン・ポートフォリオ**（顧客への貸出金（純額）の51%、すなわち、2022年12月31日現在で2,540億ユーロ）の規模が要因となり、主にフランスにおいて、**グループは不動産市場の変動によるリスクにさらされている**。地政学的危機と現在のインフレ状況、例えば家計の財政状況の悪化や失業率の上昇に関連した需要の落ち込みの結果、当該リスクの確率は高まる可能性がある。そのようなシナリオは、債務不履行の増加により、また不動産担保金融が行われている場合には、不動産市場が相当期間影響を受けた場合、担保として提供された住宅の価値低下を通じて、リスク費用に影響を与えると考えられる。2008年の金融危機後、ネットワークの不動産ローンのポートフォリオのリスク費用は２年間（2009年度及び2010年度）の間にバランスシート上の債務の0.10%に達した。2022年度において、ネットワークの住宅ローンにおけるリスク費用は重大なものではなく、2020年度と2021年度から大きな差異はなかった。COVID-19危機の直前である2019年度には、この比率は0.02%に達していた。

d. クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、主にフランスにおいて、特定の国家、取引銀行又は大企業グループに対して比較的高い単一のエクスポージャーを有しており、これらの一部は公的機関が実施する支援策（すなわち、政府保証融資）から恩恵を受けている。グループの最大顧客の一つ又はそれ以上が債務不履行に陥った場合、グループの収益性が低下する可能性がある。国家及び類似機関等（2022年度末の総エクスポージャーは1,890億ユーロ）については、グループは主にフランス（1,570億ユーロ）（主にユーロ・システムの加盟銀行であるフランス銀行（Banque de France）（約960億ユーロ））及びフランス預金供託公庫（Caisse des dépôts et consignations）のリスク（約390億ユーロ。規制貯蓄口座預金の集中化制度により、フランスにおいてソブリン・リスクとみなされている。）のエクスポージャーにさらされている。国家以外では、2022年12月31日現在、300百万ユーロ（純利益の10%未満に相当）を上回るオン・バランスシート及びオフ・バランスシート上の単一のエクスポージャーは、銀行に関しては７のカウンターパーティーについて約60億ユーロ、企業に関しては67のカウンターパーティーについて450億ユーロであった。これらのカウンターパーティーのうち複数が同時に格下げ又は債務不履行となる可能性は排除できず、その場合、グループの収益性に影響が及ぶと考えられる。

＜中略＞

**2. グループの活動及びマクロ経済環境に関するリスク**

＜中略＞

**2.2　金利リスク**

＜中略＞

６つの規制上のシナリオに従って決定されるクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのバランスシートの正味現在価値（NPV）の感応度は、普通株式等Tier 1資本の閾値15%を下回っている。

2022年12月31日現在の普通株式Tier 1資本に対するNPVの下方感応度はマイナス8.74%であり、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、利回り曲線全体の上昇に影響を受けやすい。１年及び２年の純受取利息の感応度は、複数のシナリオ（下限を設定した100 bpsごとのレート増減、200 bpsごとのレートの増減）及び２つのストレス・シナリオ（利回り曲線の平坦化／逆転、並びに短期及び長期レートの停滞／インフレショック）に従って決定される。「代替的な後押しを伴うスタグフレーション」シナリオは、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルにとって最も好ましくないシナリオであり、２年間にわたる影響は、マイナス37.09%（2022年12月31日現在、マイナス2,944.69百万ユーロ）である。

＜中略＞

4. グループの事業運営に関するリスク

＜中略＞

4.3　気候リスク

＜中略＞

b.　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのビジネスモデルは、以下の結果を招く移行リスクに影響を受ける可能性がある。

- 過度にカーボンインテンシブなビジネスモデルにより、顧客が失われ、会社の収益性が低下する。
- リファイナンス費用が非財務業績に左右される度合いが高まる。
- エネルギー費用及び輸送費の増加。
- ファイナンス及びポートフォリオ上の有価証券がカーボンのタクソノミーに該当すれば、資本の積み増しが必要となる可能性がある。

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、そのセクター別方針により、介入の範囲を定義し、社会及び環境への影響（気候リスクを含む。）が最も重大な分野において事業を遂行するための基準を設定することが可能となっている。これらの方針はCIC全体で適用され、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの段階で監視されている。このため、企業、投資及び保険のポートフォリオ全てについて、セクター別方針に適うエクスポージャーを監視して、気候リスクに最も影響を受ける可能性のあるエクスポージャーの当初の測定値を提供している。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルには、石炭、鉱業、炭化水素、民間原子力エネルギー、防衛・安全保障、航空・海運・道路部門におけるモビリティー及び農業という７つのセクター別の方針がある。2022年12月31日現在、セクター別方針について適格な金額は、417億ユーロ（2021年12月31日現在は363億ユーロ）であり、そのうち企業ポートフォリオの残高は267億ユーロであった。このポートフォリオにおいて、石炭及び炭化水素のセクター別方針に関連するエクスポージャーの割合は、それぞれ0.56%及び17.01%であった。CISの直接及び間接カーボンフットプリントは、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの段階で計算されたデータに含まれている。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのフランスにおける直接カーボンフットプリント（グループのエネルギー消費、冷媒、保有車両及び出張に関連する。）は、2020年度から2021年度の間に１%減少し、その企業ポートフォリオのファイナンスの間接カーボンフットプリント（貸付百万ユーロ当たりのCO2トン数で測定）は、2021年度から2022年度の間に37%減少した。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの非財務業績と気候コミットメントに関する詳細については、「第一部　企業情報／第５　提出会社の状況／３　コーポレート・ガバナンスの状況等／（１）コーポレート・ガバナンスの概要／②社会的及び相互的責任」を参照のこと。

＜後略＞

## ３【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

＜訂正前＞

＜前略＞

### ２　BFCMの活動及び連結業績

### 2.1　BFCMの活動及び業績－連結範囲

#### *2.1.1　主要な数値*

＜中略＞

| （残存貸付金：十億ユーロ） | 2022年12月31日 | 2021年12月31日 | 変動率 | 連結範囲を同一とした場合の変動率[1] | 2020年12月31日 |
|---|---|---|---|---|---|
| アビタ | 115.2 | 103.1 | +11.8% | +7.2% | 93.7 |
| 消費 | 40.4 | 37.2 | +8.7% | +8.7% | 34.5 |
| 機器＆リース | 108.0 | 94.0 | +14.9% | +14.9% | 90.3 |
| オペレーション[2] | 52.0 | 46.9 | +11.0% | +11.0% | 46.5 |
| その他 | 6.6 | 5.4 | +22.8% | +22.8% | 5.7 |
| **顧客への貸出金** | **322.3** | **286.5** | **+12.5%** | **+9.0%** | **270.8** |

＜中略＞

#### *2.1.3　連結損益計算書の分析*

＜中略＞

*一般営業費及び営業総利益*

＜中略＞

費用収入比率は1.2%悪化し、54.6%であった。

＜中略＞

#### *2.1.5　代替的業績指標*

**代替的業績指標（API）－AMFの一般規則第223-1条／ESMAガイダンス（ESMA/20151415）**

＜中略＞

| | | |
|---|---|---|
| 不良債権に係るカバレッジ比率 | 信用リスクに係る引当金（S3減損）の、規制に基づいてデフォルトと認識される残高総額（S3個別の減損を受けた債権の総額）に対する比率を算出することで決定される。総カバレッジ比率は、正常債権に対する引当金（S1とS2）を分子に加算して算出される。 | このカバレッジ率は、デフォルトに陥った貸出金（「不良債権」）に関連する最大残余リスクを測定する。 |

＜中略＞

### ３　BFCMの活動及び親会社の業績

### 3.1　BFCMの事業活動

＜中略＞

**対象となるリファイナンス事業**

欧州投資銀行（EIB）によって配分された様々な予算は、2022年度においても引き続きクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル・のネットワークの最終受益者に配分され、一部はBFCMによって貸付が実行された。

＜中略＞

### 3.2　BFCMの年次財務書類についての経営陣の報告

#### *3.2.1　貸借対照表*

＜中略＞

下位劣後債は６億ユーロであった。BFCMは新規銘柄を発行しなかったが、150百万ユーロの増加は、2022年1月初旬のクレディ・ミュチュエル・ノール・ユーロップの吸収合併時に移転した下位劣後債に関連するものである。

＜中略＞

#### *3.2.3　損益計算書*

＜中略＞

2022年度のリスク費用は、６百万ユーロの金額（引当金（純額））であった。

＜後略＞

＜訂正後＞

＜前略＞

## 2　BFCMの活動及び連結業績

### 2.1　BFCMの活動及び業績－連結範囲

#### *2.1.1　主要な数値*

＜中略＞

| *（残存貸付金：十億ユーロ）* | 2022年12月31日 | 2021年12月31日 | 変動率 | 連結範囲を同一とした場合の変動率[(1)] | 2020年12月31日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 住宅 | 115.2 | 103.1 | +11.8% | +7.2% | 93.7 |
| 消費 | 40.4 | 37.2 | +8.7% | +8.7% | 34.5 |
| 機器＆リース | 108.0 | 94.0 | +14.9% | +14.9% | 90.3 |
| オペレーション[(2)] | 52.0 | 46.9 | +11.0% | +11.0% | 46.5 |
| その他 | 6.6 | 5.4 | +22.8% | +22.8% | 5.7 |
| **顧客への貸出金** | **322.3** | **286.5** | **+12.5%** | **+9.0%** | **270.8** |

＜中略＞

#### *2.1.3　連結損益計算書の分析*

＜中略＞

*一般営業費及び営業総利益*

＜中略＞

費用収入比率は1.2ポイント悪化し、54.6%であった。

＜中略＞

#### *2.1.5　代替的業績指標*

**代替的業績指標（API）－AMFの一般規則第223-1条／ESMAガイダンス（ESMA/20151415）**

＜中略＞

| | | |
|---|---|---|
| 不良債権に係るカバレッジ比率 | 信用リスクに係る引当金（S3減損）の、規制に基づいてデフォルトと認識される残高総額（S3個別減損を受けた債権の総額）に対する比率を算出することで決定される。総カバレッジ比率は、正常債権に対する引当金（S1とS2）を分子に加算して算出される。 | このカバレッジ率は、デフォルトに陥った貸出金（「不良債権」）に関連する最大残余リスクを測定する。 |

＜中略＞

## 3　BFCMの活動及び親会社の業績

### 3.1　BFCMの事業活動

＜中略＞

**対象となるリファイナンス事業**

欧州投資銀行（EIB）によって配分された様々な予算は、2022年度においても引き続きクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのネットワークの最終受益者に配分され、一部はBFCMによって貸付が実行された。

＜中略＞

### 3.2　BFCMの年次財務書類についての経営陣の報告

#### *3.2.1　貸借対照表*

＜中略＞

下位劣後債は６億ユーロであった。BFCMは新規銘柄を発行しなかったが、150百万ユーロの増加は、2022年1月初旬のクレディ・ミュチュエル・ノール・ユーロップの吸収合併時に移転した下位劣後債に関連するものである。また、当期事業年度の償還額は５億ユーロであった。

＜中略＞

#### *3.2.3　損益計算書*

＜中略＞

2022年度のリスク費用は、マイナス６百万ユーロの金額（引当金（純額））であった。

＜後略＞

# 第５【提出会社の状況】

## ３【コーポレート・ガバナンスの状況等】

### （１）【コーポレート・ガバナンスの概要】

#### ①　コーポレート・ガバナンスの状況

＜訂正前＞

＜前略＞

**２　主要な数値**

**2.1　支払能力**

＜中略＞

*信用リスク*

＜中略＞

表１：地域別のデフォルト時エクスポージャー（EAD）

| *（単位：百万ユーロ）* | 2022年<br>12月31日 | 2021年<br>12月31日現在 |
|---|---|---|

＜中略＞

グラフ10：地域別のリスク加重資産（RWA）－ヨーロッパ（*割合*）

＜中略＞

**2.3　主要な指標（EU KM1）**

表２：過去５四半期分の主要な指標

| *（百万ユーロ又はパーセンテージ）* | | 2022年<br>12月31日 | 2022年<br>9月30日 | 2022年<br>6月30日 | 2022年<br>3月31日 | 2021年<br>12月31日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| EU 11a- | 所要資本合計（%） | 12.0% | 12.0% | 12.0% | 12.0% | 12.0% |

＜中略＞

**４　規制上の枠組の範囲（EU LIA及びEU LIB）**

＜中略＞

表３：会計上の連結範囲と規制上の連結の違い及び財務諸表と規制上のリスク区分の項目の相関関係（EU LI1）

| *2022年12月31日現在*<br>*（単位：百万ユーロ）* | 財務書類において公表された簿価 | 規制上の連結範囲の簿価 | 各項目の簿価<br>信用リスク枠組みの対象 | カウンターパーティー・リスク枠組みの対象(1) | 証券化規定の対象 | 市場リスク枠組みの対象(1) | 資本要件の対象でないか資本からの控除の対象 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| のれん | 2,353 | 2,226 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2226 |

＜中略＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| *その他の包括利益累計額（未実現又は繰延損益）－グループ* | *-672* | *-671* | *0* | *0* | *0* | *0* | *-672* |
| *当期純利益／（損失）－グループ* | *3,329* | *3,229* | *0* | *0* | *0* | *0* | *3,229* |

＜中略＞

表４：エクスポージャーの帳簿価額と規制上の額との差額に関する主要な要因（EU LI2）

| *（単位：百万ユーロ）* | | 関与する項目合計 | 影響を受ける項目<br>信用リスク枠組み | カウンターパーティー・リスク枠組み(1) | 証券化規定 | 市場リスク枠組み |
|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11- | その他 | -1,824 | -1823 | - | -1 | - |

＜中略＞

表６：保守的な評価目的のための価値調整（EU PV1）

| リスクカテゴリー | カテゴリーAVA－不確実な評価 | カテゴリーAVA－分散化後 |
|---|---|---|

| 2022年12月31日現在（単位：百万ユーロ）カテゴリーAVA | 株式 | 金利 | 為替調整 | 与信 | 商品 | 前払信用スプレッドに関連するAVA | 投資及び資金調達コストに関連するAVA | 分散化後のカテゴリーAVA | うちトレーディング勘定のプリンシパル・アプローチ合計 | うちトレーディング勘定のメイン・アプローチ合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | リスクカテゴリー | | | | | カテゴリーAVA－不確実な評価 | | | カテゴリーAVA－分散化後 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2021年12月31日現在（単位：百万ユーロ）カテゴリーAVA | 株式 | 金利 | 為替調整 | 与信 | 商品 | 前払信用スプレッドに関連するAVA | 投資及び資金調達コストに関連するAVA | 分散化後のカテゴリーAVA | うちトレーディング勘定のプリンシパル・アプローチ合計 | うちトレーディング勘定のメイン・アプローチ合計 |

＜中略＞

表７：資本に関する詳細（EU CC1）

| （単位：百万ユーロ） | | 2022年12月31日現在 | 2021年12月31日現在 | レファレンス番号に基づくソース／規制連結範囲に依拠する貸借対照表の番号(EU CC2) |
|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 13 | 証券化資産に起因する持分の増加（マイナスの金額） | - | 0 | - |

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 72 | 金融機関による金融セクターの事業体の資本（かかる金融機関が金融セクターの事業体に重大な投資を行っていない場合）の直接的又は間接的な保有（10%基準未満の金額及び適格なショート・ポジションを控除した金額）（マイナスの金額） | 319 | 310 | - |
| 73 | 金融機関による金融セクターの事業体の資本（かかる金融機関が金融セクターの事業体に重大な投資を行っている場合）の直接的又は間接的な保有（10%基準未満の金額及び適格なショート・ポジションを控除した金額）（マイナスの金額） | 1,668 | 1,481 | - |

＜中略＞

## 5.2　必要資本

表９：RWAの概要－最低資本要件（EU OV1）

| （単位：百万ユーロ） | | RWA（リスク加重資産） 2022年12月31日現在 | RWA（リスク加重資産） 2021年12月31日現在 | 最低資本要件 2022年12月31日現在 |
|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 6 | うち先進的内部格付手法 | 70,701 | 98,013 | 5,656 |

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 20 | うち標準的手法（SA） | 2,463 | 3,277 | 197 |

＜中略＞

## 6　健全性指標

＜中略＞

## 6.2　主なリスク

＜中略＞

表13：主なリスク

企業

| 顧客リスクの集中 | 2022年12月31日現在 | 2021年12月31日現在 |
|---|---|---|
| 300百万ユーロ超のコミットメント | | |
| 取引相手方グループ数 | 75 | 59 |
| コミットメント（単位：百万ユーロ）合計 | 47,201 | 37,288 |
| うち財政状態計算書の合計（単位：百万ユーロ） | 18,851 | 12,917 |
| うちオフ・バランスシートの保証及び融資の合計（単位：百万ユーロ） | 28,350 | 24,371 |
| 100百万ユーロ超のコミットメント | | |

| | | |
|---|---|---|
| 取引相手方グループ数 | 254 | 229 |
| コミットメント（単位：百万ユーロ）合計 | 73,314 | 63,710 |
| うち財政状態計算書の合計（単位：百万ユーロ） | 33,193 | 26,477 |
| うちオフ・バランスシートの保証及び融資合計（単位：百万ユーロ） | 40,121 | 37,233 |

*出所：クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル全体の「主要なリスク」宣言*
*ネット・エクスポージャー額は信用リスク軽減措置の除外及び考慮後の金額。*
*コミットメント：バランスシートの加重資産＋オフ・バランスシートの保証及び融資。*
*行政機関、中央銀行及びグループ間のエクスポージャーは、単独の「顧客」受領者とはみなされない。*

銀行

| 顧客リスクの集中 | 2022年<br>12月31日現在 | 2021年<br>12月31日現在 |
|---|---|---|
| 300百万ユーロ超のコミットメント | | |
| 取引相手方グループ数 | 14 | 8 |
| コミットメント（単位：百万ユーロ）合計 | 6,816 | 53,318 |
| うち財政状態計算書の合計（単位：百万ユーロ） | 5,837 | 50,578 |
| うちオフ・バランスシートの合計（単位：百万ユーロ） | 979 | 2,740 |
| 100百万ユーロ超のコミットメント | | |
| 取引相手方グループ数 | 44 | 23 |
| コミットメント（単位：百万ユーロ）合計 | 9,714 | 55,942 |
| うち財政状態計算書の合計（単位：百万ユーロ） | 8,160 | 52,386 |
| うちオフ・バランスシートの保証及び融資合計（単位：百万ユーロ） | 1,555 | 3,556 |

*出所：クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル全体の「主要なリスク」宣言*
*ネット・エクスポージャー額は信用リスク軽減措置の除外及び考慮後の金額。*
*コミットメント：バランスシートの加重資産+オフ・バランスシートの保証及び融資。*
*行政機関、中央銀行及びグループ間のエクスポージャーは、単独の「顧客」受領者とはみなされない。*

＜中略＞

## 6.4　レバレッジ比率（EU LRA）

＜中略＞

表17：レバレッジ比率－共同報告書（EU LR2-LRCOM）
レバレッジ比率を構成する主な項目

| | CRRに基づく<br>レバレッジ比率エクスポージャー | |
|---|---|---|
| （単位：百万ユーロ） | 2022年<br>12月31日現在 | 2021年<br>12月31日現在 |
| バランスシート（デリバティブ及びSFTsを除く。） | | |

＜中略＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 28 | 売上として認識された取引並びに関連する売掛金及び買掛金純額の調整後のSFT総資産の１日当たりの平均値 | 20,361 | 5,913 |

＜中略＞

## 8.3　資産の信用度

＜中略＞

### *8.3.2　信用リスクに関する減損（EU CRB-c）*

＜中略＞

**マクロ経済の不確実性が高い状況の影響（直接又は間接的）を考慮に入れるためのポストモデル調整**

＜中略＞

2022年12月初旬、その時点でのマクロ経済状況及びマクロ経済状況の予想は、供給問題の継続、エネルギー危機による多くの企業への重大な影響の予測、インフレ、不確実性の高まり及び2022年度第４四半期のフランスGDPの成長の大幅な鈍化により、特に困難なものであった。このような、性質も範囲も前例のない危機的状況のなかで、悲観的なシナリオの特定及び将来予測に重点を置いた引当処理手法について2023年に実施される変更に関する不確実性に対応するために、2022年末日時点の財務書類に追加の引当金（ポストモデル調整）が計上されている。

＜中略＞

## 8.5　内部格付システム（EU CRE）

＜中略＞

### *8.5.2　モデルのマッピング*

＜中略＞

次へ

## 表32：内部格付手法－エクスポージャー種別及びPD範囲別信用リスク・エクスポージャー（EU CR6）－IRBA

| 2022年12月31日現在（単位：百万ユーロ） | デフォルト確率（PD）の範囲 | 財政状態計算書上の当初総エクスポージャー | CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー | 加重平均CCF（%） | CCF及びCRM適用後のエクスポージャー | 加重平均PD（%） | 債務者の数 | 加重平均LGD（%） | 加重平均残存期間（年） | 追加的要因反映後のリスク加重エクスポージャー | リスク加重エクスポージャーの密度（%） | 予想損失額 | 適格引当金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | | | |
| 企業 | | | | | | | | | | | | | |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | | | |
| うち特定貸付 | | | | | | | | | | | | | |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | | | |

| 2022年12月31日現在（単位：百万ユーロ） | デフォルト確率（PD）の範囲 | 財政状態計算書上の当初総エクスポージャー | CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー | 加重平均CCF（%） | CCF及びCRM適用後のエクスポージャー | 加重平均PD（%） | 債務者の数 | 加重平均LGD（%） | 加重平均残存期間（年） | 追加的要因反映後のリスク加重エクスポージャー | リスク加重エクスポージャーの密度（%） | 予想損失額 | 適格引当金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| リテール顧客 | | | | | | | | | | | | | |
| | 0以上0.15未満 | 120,462 | 15,899 | 34 | 125,835 | 0.07 | 3,352,463 | 14 | 0 | 3,202 | 3 | 12 | 11 |
| | 0.15以上0.25未満 | 117,965 | 12,329 | 34 | 122,125 | 0.07 | 2,146,728 | 14 | 0 | 3,059 | 3 | 11 | 10 |
| | うち（0以上0.10未満） | 2,498 | 3,570 | 34 | 3,710 | 0.11 | 1,205,735 | 23 | 0 | 143 | 4 | 1 | 1 |
| | うち（0.10以上0.15未満） | 37,546 | 3,449 | 38 | 38,742 | 0.20 | 762,531 | 15 | 0 | 2,280 | 6 | 11 | 14 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | | | |

次へ

### *8.5.5　追加の定量的情報*

＜中略＞

**表33：内部格付手法－標準的手法及び内部格付手法の使用範囲（EU CR6A）**

| | 正常貸出金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2022年12月31日現在<br>*（百万ユーロ）* | 内部格付手法に基づくエクスポージャーについてCRR第166条の意味の範囲内のもの | 標準的手法及び内部格付手法に基づくエクスポージャー合計 | SAの一部利用の永続的利用に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） | 内部格付手法に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） | 展開計画に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *うちリテール顧客－－不動産－非中小企業* | *154,449* | *167,592* | *5* | *92* | *3* |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *うちリテール顧客－中小企業以外* | *85,493* | *124,965* | *10* | *68* | *22* |

＜中略＞

| | バリュー・アット・リスク | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2021年12月31日現在<br>*（百万ユーロ）* | 内部格付手法に基づくエクスポージャーについてCRR第166条の意味の範囲内のもの | 標準的手法及び内部格付手法に基づくエクスポージャー合計 | SAの一部利用の永続的利用に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） | 内部格付手法に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） | 展開計画に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *うちリテール顧客－－不動産－非中小企業* | *139,088* | *146,801* | *5* | *95* | *0* |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *うちリテール顧客－中小企業以外* | *79,692* | *113,656* | *10* | *70* | *20* |

＜中略＞

**表36：内部格付手法－エクスポージャー・クラス別のPDのバック・テスティング－（PD予測の用途のみ）（EU CR9.1）**

| エクスポージャーのカテゴリー<br>*（百万ユーロ）*<br>2022年12月31日現在 | PDの範囲 | 同等の外部格付 | 前年度の債務者の数 | うち年度中に債務不履行に陥った債務者の数 | 観測されたデフォルト率（%） | 平均PD（%） | 過去の平均年次デフォルト率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 銀行 | **0.00以上 0.15未満** | **1から2** | **321** | **-** | **0.03** | **0.06** | **0.07** |
| | 0.15以上 0.50未満 | 3 | 148 | - | 0.11 | 0.32 | - |
| | 0.50以上 10未満 | 4 | 137 | 1 | 1.21 | 1.82 | 0.35 |
| | 10.00以上 100未満 | 5から6 | 39 | - | 2.91 | 20.67 | 1.94 |
| | 100.00（デフォルト） | - | - | - | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 大企業 | **0.00以上 0.15未満** | **1から2** | **1,208** | **1** | **0.46** | **0.07** | **0.09** |
| | 0.15以上 1.50未満 | 3 | 3,856 | 19 | 0.44 | 0.59 | 0.21 |
| | 1.50以上 10未満 | 4 | 2,717 | 26 | 1.27 | 2.48 | 0.91 |
| | 10.00以上 100.00未満 | 5から6 | 314 | 4 | 9.86 | 15.86 | 5.38 |
| | 100.00（デフォルト） | - | - | - | 100.00 | 100.00 | 100.00 |

| エクスポージャーのカテゴリー（百万ユーロ）2021年12月31日現在 | PDの範囲 | 同等の外部格付 | 前年度の債務者の数 | うち年度中に債務不履行に陥った債務者の数 | 観測されたデフォルト率（%） | 平均PD（%） | 過去の平均年次デフォルト率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 銀行 | **0.00以上0.15未満** | **1から2** | **312** | **1** | **0.00** | **0.06** | **0.07** |
| | 0.15以上0.50未満 | 3 | 113 | - | 0.00 | 0.34 | 0.13 |
| | 0.50以上10未満 | 4 | 29 | - | 0.01 | 1.91 | 0.37 |
| | 10.00以上100.00未満 | 5から6 | 14 | 3 | 0.03 | 21.61 | 2.10 |
| | 100.00（デフォルト） | - | - | - | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 大企業 | **0.00以上0.15未満** | **1から2** | **1,324** | **-** | **0.00** | **0.07** | **0.10** |
| | 0.15以上1.50未満 | 3 | 3,711 | 7 | 0.00 | 0.62 | 0.20 |
| | 1.50以上10未満 | 4 | 2,353 | 20 | 0.01 | 2.60 | 0.84 |
| | 10.00以上100.00未満 | 5から6 | 244 | 26 | 0.11 | 16.58 | 8.54 |
| | 100.00（デフォルト） | - | - | - | 100.00 | 100.00 | 100.00 |

＜中略＞

### 表38：内部格付－特定融資－不動産（EU CR10.2）

| 規制カテゴリー（単位：百万ユーロ）2022年12月31日現在 | 残存期間 | オン・バランスシート額 | オフ・バランスシート額 | リスク加重 | エクスポージャー額 | RWA | 予想損失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

### 表39：内部格付－特定融資－資産（EU CR10.3）

| 規制カテゴリー（単位：百万ユーロ）2022年12月31日現在 | 残存期間 | オン・バランスシート額 | オフ・バランスシート額 | リスク加重 | バリュー・アット・リスク | RWA | 予想損失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

## 9　カウンターパーティー・リスク（EU CCRA）

＜中略＞

### 表44：標準的手法－規制上のポートフォリオ及びリスク加重別のCCRエクスポージャー（EU CCR3）

| 2022年12月31日現在のエクスポージャーのカテゴリー（単位:百万ユーロ） | EAD リスク加重 0% | 2% | 4% | 10% | 20% | 50% | 70% | 75% | 100% | 150% | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 政府及び中央銀行 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 地域又は地方政府 | 0 | - | - | - | - | - | - | - | 0 | - | - | 0 |
| 公共部門（中央政府を除く公的機関） | 27 | - | - | - | - | - | - | - | 0 | - | - | 28 |
| 国際開発金融機関 | 16 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 16 |
| 国際組織 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金融機関（銀行） | 0 | 400 | 0 | 0 | 198 | 14 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 615 |
| 企業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 441 | 0 | 0 | 442 |
| リテール顧客 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 短期信用格付を付与された機関及び企業のエクスポージャー | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の資産 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 |
| **合計** | **43** | **400** | **0** | **0** | **198** | **15** | **0** | **2** | **449** | **0** | **0** | **1,108** |

| 2021年12月31日現在の<br>エクスポージャーのカテゴリー<br>（単位:百万ユーロ） | EAD<br>リスク加重<br>0% | 2% | 4% | 10% | 20% | 50% | 70% | 75% | 100% | 150% | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 政府及び中央銀行 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 地域又は地方政府 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 公共部門<br>（中央政府を除く公的機関） | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 4 |
| 国際開発金融機関 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 国際組織 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金融機関（銀行） | 0 | 473 | 0 | 0 | 179 | 24 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 679 |
| 企業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 365 | 0 | 0 | 365 |
| リテール顧客 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 短期信用格付を付与された機関<br>及び企業のエクスポージャー | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の資産 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| **合計** | **1** | **473** | **0** | **0** | **179** | **24** | **0** | **3** | **375** | **0** | **0** | **1,055** |

＜中略＞

次へ

### 表45：内部格付手法－ポートフォリオ及びPD範囲別のCCRエクスポージャー（EU CCR4）IRBA手法

| 2022年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | PDの範囲 | CRM後のEAD | 加重平均PD（%） | 債務者の数 | 平均LGD（%） | 満期の平均（年） | リスク加重エクスポージャー額（RWEA） | RWAの密度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **リテール顧客** | | | | | | | | |
| ＜中略＞ | | | | | | | | |
| うち中小企業 | | | | | | | | |
| | 0以上0.15未満 | | - | - | - | - | - | - | - |
| ＜中略＞ | | | | | | | | |

### 表45 BIS：内部格付手法－ポートフォリオ及びPD範囲別のCCRエクスポージャー（EU CCR4）IRBF手法

| 2022年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | PDの範囲 | CRM後のEAD | 加重平均PD | 債務者の数 | 平均LGD | 満期の平均 | RWA | RWAの密度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | | | |

次へ

## 10　信用リスクの緩和手法（EU CRC）

＜中略＞

### 10.4　保護提供者の主要なカテゴリー

＜中略＞

表49：信用リスク緩和（CRM）－概要（EU CR3）

＜中略＞

| 2021年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | | 無担保エクスポージャー－簿価 | 保証付エクスポージャー－簿価 | 担保で保全されたエクスポージャー(1) | 金融保証で保全されたエクスポージャー | クレジット・デリバティブに保全されたエクスポージャー |
|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 5- | うち債務不履行となったもの | 2,290 | 3,513 | - | - | - |

＜中略＞

表50：標準的手法－信用リスク・エクスポージャー及びCRMの効果（EU CR4）

| 2022年12月31日現在のエクスポージャーのカテゴリー<br>*（単位：百万ユーロ）* | | CCF及びCRM適用前のエクスポージャー | | CCF及びCRM適用後のエクスポージャー | | RWA及びRWA密度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5- | 国際組織 | 1,063 | 0 | 1,063 | - | 0 | 0% |

＜中略＞

| 2021年12月31日現在のエクスポージャーのカテゴリー<br>*（単位：百万ユーロ）* | | CCF及びCRM適用前のエクスポージャー | | CCF及びCRM適用後のエクスポージャー | | RWA及びRWA密度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | オン・バランスシート額 | オフ・バランスシート額 | オン・バランスシート額 | オフ・バランスシート額 | RWA | RWA密度 |

＜中略＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6- | 金融機関（銀行） | 1,788 | 17,263 | 1,777 | 136 | 424 | 22% |
| 7- | 企業 | 19,552 | 12,882 | 18,522 | 3,304 | 19,307 | 88% |

＜中略＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11- | 特に高リスクなエクスポージャー | 1,427 | 187 | 1,401 | 93% | 2,226 | 149% |

＜中略＞

## 11　証券化（EU SECA）

＜中略＞

### 11.3　資本市場に関する定量的データ

＜中略＞

表54：証券化商品の残高の内訳

＜中略＞

| 国別の残高 | 2022年12月31日 |
|---|---|

＜中略＞

## 13　資産負債管理（ALM）リスク

＜中略＞

### 13.2　金利リスク管理（EU IRRBBA）

#### *13.2.1　金利リスク・ガバナンス及び管理*

＜中略＞

－　資産負債管理の主要な目的は、金利及び為替レートの変動からコマーシャル・マージンを保護し、銀行がその義務を満たすための十分な流動性を有し、流動性リスクから銀行を守ることを確実にすることである。

＜中略＞

#### *13.2.2　測定及び監視システム並びにヘッジ手続*

＜中略＞

－　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルについては、金利の下落に対する感応度は１年間では-3.62%（絶対値で288百万ユーロ）、２年間では-5.63%（-447百万ユーロ）であり、リスク制限を遵守している。

＜中略＞

## 13.3　流動性リスク管理（EU LIQA）

### *13.3.1流動性リスク管理及び戦略*

＜中略＞

技術的監視・管理委員会における集中的監視及び意思決定を確保する流動性リスク・ガバナンス

－　リファイナンス方針の保護及び最適化を目的とする制限及び警告閾値に従う流動性ギャップの決定

＜中略＞

### *13.3.5　規制上の指標及び流動性準備金*

＜中略＞

次へ

**表65：短期流動性カバレッジ比率－LCR（EU LIQ1）**

**＜中略＞**

| 2021年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | リスク加重されていない価値の合計 | | | | リスク加重された価値の合計 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2021年3月31日現在 | 2021年6月30日現在 | 2021年9月30日現在 | 2021年12月31日現在 | 2021年3月31日現在 | 2021年6月30日現在 | 2021年9月30日現在 | 2021年12月31日現在 |

**＜中略＞**

*（1）* *決算日ごとに表示された比率は、かかる日付に先立つ12ヶ月間の比率の平均であり、項目の過去12ヶ月間の平均比率ではない。*

**＜中略＞**

次へ

### 表67：クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結財政状態計算書における契約上の将来キャッシュ・フローの残存満期別内訳（元本及び利息）

| 2022年<br>（単位：百万ユーロ） | 契約上の残存満期 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1ヶ月以内(1) | 1ヶ月超3ヶ月以内 | 3ヶ月超1年以内 | 1年超2年以内 | 2年超5年以内 | 5年超 | 固定満期なし(2) | 合計 |

＜中略＞

| 2021年<br>（単位：百万ユーロ） | 契約上の残存満期 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1ヶ月以内(1) | 1ヶ月超3ヶ月以内 | 3ヶ月超1年以内 | 1年超2年以内 | 2年超5年以内 | 5年超 | 固定満期なし(2) | 合計 |

＜中略＞

### 表68：純安定調達比率－NSFR（EU LIQ2）

| 2022年12月31日現在<br>（単位：百万ユーロ） | | 残存期間別の加重されていない価値 | | | | 加重された価値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 満期なし | ６ヶ月未満 | ６ヶ月以上１年未満 | １年以上 | |

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| *27* | *現物で取引されるもの* | - | 0 | 0 | 0 | 0 |

＜中略＞

| *（単位：百万ユーロ）*<br>2021年12月31日現在 | 残存機関別の加重されていない価値 | | | | 加重された価値 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 満期なし | ６ヶ月未満 | ６ヶ月以上１年未満 | １年以上 | |
| **利用可能な安定調達額** | | | | | |
| 資本及び金融商品 | 49,912 | 0 | 0 | 6,989 | 56,901 |
| *規制資本* | *49,912* | *0* | *0* | *6,989* | *56,901* |
| *その他の資本性金融商品* | - | *0* | *0* | *0* | *0* |
| リテール顧客預金 | - | 255,257 | 220 | 1,321 | 239,974 |
| *安定した預金* | - | *174,310* | *176* | *1,249* | *167,010* |
| *不安定な預金* | - | *80,947* | *45* | *72* | *72,964* |
| ホールセール資金調達 | - | 206,458 | 24,975 | 118,746 | 190,832 |
| *オペレーショナル預金* | - | *22,137* | *0* | *0* | *11,068* |
| *その他のホールセール資金調達* | - | *184,321* | *24,975* | *118,746* | *201,900* |
| 相互依存コミットメント | - | 32,024 | 0 | 0 | 0 |
| その他のコミットメント | 909 | 12,003 | 1,706 | 4,314 | 5,167 |
| *NSFRに影響するデリバティブ・コミットメント* | *909* | - | - | - | - |
| *前記のカテゴリーに含まれないその他全ての資本コミットメント* | - | *12,003* | *1,706* | *4,314* | *5,167* |
| **利用可能な安定調達額合計** | - | - | - | - | 492,874 |
| 安定調達要件 | | | | | |
| 適格流動資産（HQLA）合計 | - | - | - | - | 2,069 |
| カバー・プールの残存期間が１年以上の担保資産 | - | 1,489 | 1,509 | 29,040 | 27,232 |
| その他の金融機関が保有する業務上の目的で他の金融機関と保有している預金 | - | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 正常貸出金及び有価証券 | - | 79,609 | 30,813 | 354,303 | 390,924 |
| *レベル１の適格流動資産に保証され、０％のヘアカット率の対象となる、金融顧客との間で実行する正常な有価証券の金融取引* | - | *3,920* | *2,501* | *0* | *2,082* |
| *その他の資産並びに金融機関に対する貸出金及び前渡金に保証された金融顧客との間で実行する正常な有価証券の金融取引* | - | *16,160* | *1,737* | *12,758* | *15,940* |
| *非金融企業に対する正常貸出金、リテール顧客及び中小企業向け正常貸出金並びに国家機関や公共部門事業体向けの正常貸出金、うち：* | - | *36,356* | *17,698* | *129,519* | *146,653* |
| *信用リスクに関する標準化されたバーゼルⅡアプローチに基づく35%以下のリスク加重* | - | *1,993* | *1,623* | *3,605* | *9,170* |
| *正常な住宅ローン、うち：* | - | *9,156* | *8,220* | *181,847* | *140,911* |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *信用リスクに関する標準化されたバーゼルⅡアプローチに基づく35%以下のリスク加重* | - | *6,131* | *5,154* | *111,735* | *78,270* |
| *債務不履行に陥っておらず、かつ、取引所で取引されている株式やオン・バランスシートの商業信用商品を含む、適格流動資産とはみなされないその他の貸出金や証券* | - | *14,016* | *656* | *30,179* | *30,874* |
| 相互依存資産 | - | 32,024 | 0 | 0 | 0 |
| その他の資産 | - | - | - | - | - |
| *現物で取引されるコモディティ* | - | - | - | *0* | *0* |
| *デリバティブ契約の当初証拠金として提供された資産及びCCPのデフォルト・ファンドへの貢献* | - | | | *1,273* | *1,082* |
| *NSFRに影響するデリバティブ・コミットメント* | - | | | *393* | *393* |
| *提供された変動証拠金控除前のNSFRに影響を与えるデリバティブ・コミットメント* | - | | | *2,861* | *143* |
| *前記のカテゴリーに含まれないその他全ての資本コミットメント* | - | *20,481* | *1,122* | *14,932* | *20,809* |
| オフ・バランスシート項目 | - | 83,134 | 95 | 48 | 4,355 |
| **所要安定調達額合計** | **-** | **-** | **-** | **-** | **392,543** |
| **純安定調達比率（%）** | **-** | **-** | **-** | **-** | **125.6%** |

＜中略＞

## 14　オペレーティング・リスク（EU ORA）

＜中略＞

### 14.1　主な目的

＜中略＞

－　経済の観点から、全事業のリスクを徹底的に管理し、特定されたリスクに保険契約を適合させることにより利益を保護すること。

＜中略＞

### 14.2　測定及び管理手続

＜中略＞

*14.2.2　AMA手法の承認範囲*

＜中略＞

グラフ14：2020年12月31日現在の評価手法別オペレーショナルRWAの内訳（EU OR2）

＜中略＞

### 14.7　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの債権の内訳

＜中略＞

グラフ15：事業分野及びリスク事象別の年間損失額（EU OR1）

＜中略＞

### 14.8　特殊なオペレーティング・リスク

**法的リスク**

法的リスクは、オペレーショナル・リスクに組み込まれ、その運営に関連する会社による過失に起因する罰金、課徴金及び損害賠償へのエクスポージャーが含まれるが、これらに限定されない。。

＜中略＞

## 15　担保権が設定されている資産及び担保権が設定されていない資産の概要（EU　AE4）

＜中略＞

表69：担保権が設定されている資産及び担保権が設定されていない資産(1)（EU AE1）

| 2022年12月31日現在<br>（単位：百万ユーロ） | | 担保権が設定されている資産の簿価 | うちHQLA及びEHQLA | 担保権が設定されている資産の公正価値 | うちHQLA及びEQOLA | 担保権が設定されていない資産の簿価 | うちHQLA及びEHQLA | 担保権が設定されていない資産の公正価値 | うちHQLA及びEHQLA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 010 | 機関の資産(A) | 93,355 | 5,575 | - | - | 667,576 | 28,645 | - | - |

＜中略＞

| 2021年12月31日現在<br>（単位：百万ユーロ） | | 担保権が設定されている資産の簿価 | うちHQLA及びEHQLA | 担保権が設定されている資産の公正価値 | うちHQLA及びEQOLA | 担保権が設定されていない資産の簿価 | うちHQLA及びEHQLA | 担保権が設定されていない資産の公正価値 | うちHQLA及びEHQLA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 010 | 機関の資産(A) | 92,500 | 6,840 | - | - | 621,774 | 28,878 | - | - |

＜中略＞

表71：担保権が設定されている資産／担保された負債の簿価 (1) （EU AE3）

＜中略＞

| 2021年12月31日<br>（単位：百万ユーロ） | | 関連する負債、偶発債務又は貸付有価証券 | 受領した資産、保証及び保証付社債以外の発行済の自己の負債証券並びに担保権が設定されている資産に担保された有価証券 |
|---|---|---|---|
| 010 | 選定された金融負債の簿価 | 83,068 | 89,842 |

（1） *数値は経過年の四半期末データの中央値である。*

＜中略＞

### 16.1　純損益を通じて公正価値で測定する金融資産

売買目的で保有しているエクイティ・ポートフォリオは、2021年12月31日時点で732百万ユーロであったのに対し、2022年12月31日時点で731百万ユーロであった。これはCICの資本市場のみに関連している。主にプライベート・エクイティ事業部門に関連する純損益を通じてその他の公正価値として認識されているエクイティは、4,129百万ユーロであった（「第一部　企業情報／第６　経理の状況／１　財務書類／連結財務書類の注記５ａ／純損益を通じて公正価値で測定する金融資産」を参照のこと。）。「純損益を通じてその他の公正価値」として認識される長期投資は、2022年12月31日の時点で909百万ユーロに達し、そのうち371百万ユーロが株式投資、166百万ユーロがその他の長期投資であった。

＜中略＞

## 17　プライベート・エクイティ

＜中略＞

表72：プライベート・エクイティ事業に関連するリスク

| プライベート・エクイティ事業に関連するリスク | 2022年12月31日現在 | 2021年12月31日現在 |
|---|---|---|

＜中略＞

## 18　環境・社会的・ガバナンス・リスク

＜中略＞

### 18.1　環境及び気候リスクに関する定性的情報

＜中略＞

#### h)　環境リスクに関する報告ライン及び報告頻度

＜中略＞

2023年から適用されるリスク選好フレームワークには、気候及び環境リスクの監視専用の指標が含まれている。

＜中略＞

### 18.2　環境及び気候リスクに関する定量的情報

＜中略＞

次へ

## 表73：モデル１：バンキング・ポートフォリオ－気候変動に関連する可能性のある移行リスクの指標：セクター、排出量及び残存期間別のエクスポージャー

| | a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | m | n | o | p |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 簿価（百万ユーロ） | | | | | 減損累計額、信用リスク及び引当金による公正価値のマイナス変動累計額 | | | GHG排出量による資金調達（カウンターパーティーのカテゴリー１、２及び３の排出）（二酸化炭素排出量(単位：トン）、相当量） | | | | | | | |
| セクター／サブセクター | | うち規則(EU) 2020/1818第12条(1)（d）から(g)及び第12条(2)に従い、組合の「パリ協定」ベンチマークから除外される企業に対するエクスポージャー | うち環境的に持続可能（CCM）なもの | うちステージ２のエクスポージャー | うち不良エクスポージャー | | うちステージ２のエクスポージャー | うち不良エクスポージャー | | | GHG排出（j欄）：企業固有の宣言に基づくポートフォリオの総帳簿価額の割合 | ５年以下 | ５年超10年以下 | 10年超20年以下 | 20年超 | 加重平均満期 |
| **1-気候変動に重大な影響を及ぼすセクターに対するエクスポージャー** | **164,147** | **908** | **-** | **11,124** | **5,031** | **-2,849** | **-530** | **-1,992** | **-** | **-** | **-** | **54,309** | **55,351** | **46,177** | **8,310** | **8.9** |

＜中略＞

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **53-気候変動に重大な影響を及ぼさないセクターに対するエクスポージャー** | **94,002** | **23** | **-** | **10,075** | **2,394** | **-1,491** | **-337** | **-967** | **-** | **-** | **-** | **30,055** | **30,931** | **19,076** | **13,940** | **1.5** |

＜中略＞

次へ

**表75：テンプレート４：バンキング・ポートフォリオ－気候変動に関連する可能性のある移行リスクの指標：炭素集約型企業上位20社に対するエクスポージャー**

| a | b | d | E |
|---|---|---|---|
| 簿価（総額） | 簿価（総額）に対するカウンターパーティー・エクスポージャーの簿価（総額）の合計 (1) | 加重平均満期 | 汚染企業上位20社に含まれる企業の数 |
| 310 | 0.04% | 2.4 | 3＊ |

＜中略＞

**表76：バンキング・ポートフォリオ－気候変動に関連する可能性のある移行リスクの指標：物理的なリスクに影響を受けるエクスポージャー**

＜後略＞

＜訂正後＞

＜前略＞

## 2　主要な数値

### 2.1　支払能力

＜中略＞

*信用リスク*

＜中略＞

**表１：地域別のデフォルト時エクスポージャー（EAD）**

| *（単位：百万ユーロ）* | 2022年<br>12月31日現在 | 2021年<br>12月31日現在 |
|---|---|---|

＜中略＞

**グラフ10：地域別のリスク加重資産（RWA）－ヨーロッパ（*パーセンテージ*）**

＜中略＞

### 2.3　主要な指標（EU KM1）

**表２：過去５四半期分の主要な指標**

| *（百万ユーロ又はパーセンテージ）* | | 2022年<br>12月31日 | 2022年<br>9月30日 | 2022年<br>6月30日 | 2022年<br>3月31日 | 2021年<br>12月31日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| EU 11a- | 所要資本合計 | 12.0% | 12.0% | 12.0% | 12.0% | 12.0% |

＜中略＞

## 4　規制上の枠組の範囲（EU LIA及びEU LIB）

＜中略＞

**表３：会計上の連結範囲と規制上の連結の違い及び財務諸表と規制上のリスク区分の項目の相関関係（EU LI1）**

| *2022年12月31日現在*<br>*（単位：百万ユーロ）* | 財務書類において公表された簿価 | 規制上の連結範囲の簿価 | 各項目の簿価<br>信用リスク枠組みの対象 | カウンターパーティー・リスク枠組みの対象(1) | 証券化規定の対象 | 市場リスク枠組みの対象(1) | 資本要件の対象でないか資本からの控除の対象 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| のれん | 2,353 | 2,226 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,226 |

＜中略＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| *その他の包括利益累計額（未実現又は繰延損益）－グループ* | *-672* | *-671* | *0* | *0* | *0* | *0* | *-671* |
| *当期純利益／（損失）－グループ* | *3,329* | *3,229* | *0* | *0* | *0* | *0* | *3,329* |

＜中略＞

**表４：エクスポージャーの帳簿価額と規制上の額との差額に関する主要な要因（EU LI2）**

| *2022年12月31日現在*<br>*（単位：百万ユーロ）* | | 関与する項目合計 | 影響を受ける項目<br>信用リスク枠組み | カウンターパーティー・リスク枠組み(1) | 証券化規定 | 市場リスク枠組み |
|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11- | その他 | -1,824 | -1,823 | - | -1 | - |

＜中略＞

**表６：保守的な評価目的のための価値調整（EU PV1）**

| 2022年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）*<br>カテゴリーAVA | リスクカテゴリー<br>株式 | 金利 | 為替調整 | 与信 | 商品 | カテゴリーAVA－不確実な評価<br>前払信用スプレッドに関連するAVA | 投資及び資金調達コストに関連するAVA | 分散化後のカテゴリーAVA | カテゴリーAVA－分散化後<br>うちトレーディング勘定のプリンシパル・アプローチ合計 | うち銀行勘定のプリンシパル・アプローチ合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| 2021年12月31日現在<br>（単位：百万ユーロ）<br>カテゴリーAVA | 株式 | 金利 | 為替調整 | 与信 | 商品 | 前払信用スプレッドに関連するAVA | 投資及び資金調達コストに関連するAVA | 分散化後のカテゴリーAVA | うちトレーディング勘定のプリンシパル・アプローチ合計 | うち銀行勘定のプリンシパル・アプローチ合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

表７：資本に関する詳細（EU CC1）

| （単位：百万ユーロ） | | 2022年12月31日現在 | 2021年12月31日現在 | レファレンス番号に基づくソース／規制連結範囲に依拠する貸借対照表の番号（EU CC2） |
|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 13 | 証券化資産に起因する持分の増加（マイナスの金額） | - | - | - |

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 72 | 金融機関による金融セクターの事業体の資本（かかる金融機関が金融セクターの事業体に重大な投資を行っていない場合）の直接的又は間接的な保有（10%基準未満の金額及び適格なショート・ポジションを控除した金額） | 319 | 310 | - |
| 73 | 金融機関による金融セクターの事業体の資本（かかる金融機関が金融セクターの事業体に重大な投資を行っている場合）の直接的又は間接的な保有（10%基準未満の金額及び適格なショート・ポジションを控除した金額） | 1,668 | 1,481 | - |

＜中略＞

## 5.2　必要資本

表９：RWAの概要－最低資本要件（EU OV1）

| （単位：百万ユーロ） | | RWA（リスク加重資産）2022年12月31日現在 | RWA（リスク加重資産）2021年12月31日現在 | 最低資本要件 2022年12月31日現在 |
|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 6 | うち先進的内部格付手法（A-IRB） | 70,701 | 98,013 | 5,656 |

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 20 | うち標準的手法 | 2,463 | 3,277 | 197 |

＜中略＞

## 6　健全性指標

＜中略＞

## 6.2　主なリスク

＜中略＞

表13：主なリスク

企業

| 顧客リスクの集中 | 2022年12月31日現在 | 2021年12月31日現在 |
|---|---|---|
| **300百万ユーロ超のコミットメント** | | |
| 取引相手方グループ数 | 75 | 59 |
| コミットメント合計（単位：百万ユーロ） | 47,201 | 37,288 |
| うちバランスシートの合計（単位：百万ユーロ） | 18,851 | 12,917 |
| うちオフ・バランスシートの保証及び融資の合計（単位：百万ユーロ） | 28,350 | 24,371 |
| **100百万ユーロ超のコミットメント** | | |
| 取引相手方グループ数 | 254 | 229 |
| コミットメント合計（単位：百万ユーロ） | 73,314 | 63,710 |
| うちバランスシートの合計（単位：百万ユーロ） | 33,193 | 26,477 |
| うちオフ・バランスシートの保証及び融資合計（単位：百万ユーロ） | 40,121 | 37,233 |

*出所：クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル全体の「主要なリスク」宣言*
*ネット・エクスポージャー額は信用リスク軽減措置の除外及び考慮後の金額。*
*コミットメント：バランスシートの加重資産＋オフ・バランスシートの保証及び融資。*
*行政機関、中央銀行及びグループ間のエクスポージャーは、単一の「顧客」受領者とはみなされない。*

銀行

| 顧客リスクの集中 | 2022年<br>12月31日現在 | 2021年<br>12月31日現在 |
|---|---|---|
| **300百万ユーロ超のコミットメント** | | |
| 取引相手方グループ数 | 14 | 8 |
| コミットメント合計（単位：百万ユーロ） | 6,816 | 53,318 |
| うちバランスシートの合計（単位：百万ユーロ） | 5,837 | 50,578 |
| うちオフ・バランスシートの合計（単位：百万ユーロ） | 979 | 2,740 |
| **100百万ユーロ超のコミットメント** | | |
| 取引相手方グループ数 | 44 | 23 |
| コミットメント合計（単位：百万ユーロ） | 9,714 | 55,942 |
| うちバランスシートの合計（単位：百万ユーロ） | 8,160 | 52,386 |
| うちオフ・バランスシートの保証及び融資合計（単位：百万ユーロ） | 1,555 | 3,556 |

*出所：クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル全体の「主要なリスク」宣言*
*ネット・エクスポージャー額は信用リスク軽減措置の除外及び考慮後の金額。*
*コミットメント：バランスシートの加重資産+オフ・バランスシートの保証及び融資。*
*行政機関、中央銀行及びグループ間のエクスポージャーは、単一の「顧客」受領者とはみなされない。*

＜中略＞

## 6.4　レバレッジ比率（EU LRA）

＜中略＞

表17：レバレッジ比率－共同報告書（EU LR2-LRCOM）
レバレッジ比率を構成する主な項目

| | CRRに基づく<br>レバレッジ比率エクスポージャー | |
|---|---|---|
| （単位：百万ユーロ） | 2022年<br>12月31日現在 | 2021年<br>12月31日現在 |
| オン・バランスシート（デリバティブ及びSFTsを除く。） | | |

＜中略＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 28 | 売上として認識された取引並びに関連する売掛金及び買掛金純額の調整後のSFT総資産の１日当たりの平均値 | 20,361 | 15,913 |

＜中略＞

## 8.3　資産の信用度

＜中略＞

### *8.3.2　信用リスクに関する減損（EU CRB-c）*

＜中略＞

**マクロ経済の不確実性が高い状況の影響（直接又は間接的）を考慮に入れるためのポストモデル調整**

＜中略＞

2022年12月初旬、その時点でのマクロ経済状況及びマクロ経済状況の予想は、供給問題の継続、エネルギー危機による多くの企業への重大な影響の予測、インフレ、不確実性の高まり及び2022年度第４四半期のフランスGDPの成長の大幅な鈍化により、特に困難なものであった。このような、性質も範囲も前例のない危機的状況のなかで、悲観的なシナリオの特定及び将来予測に重点を置いた引当処理手法について2023年に実施される変更に関する不確実性に対応するために、2022年末日時点の財務書類に追加の引当金（ポストモデル調整）が計上されている。

---

(1)　*観光、ゲーム、娯楽、ホテル、レストラン、自動車及び航空宇宙産業（製造業者を除く）、衣料品、飲料販売、小型乗用車レンタル、商用旅客輸送及び航空輸送*

＜中略＞

## 8.5　内部格付システム（EU CRE）

＜中略＞

### *8.5.2　モデルのマッピング*

＜中略＞

次へ

## 表32：内部格付手法－エクスポージャー種別及びPD範囲別信用リスク・エクスポージャー（EU CR6）－IRBA

| 2022年12月31日現在 *（単位：百万ユーロ）* | デフォルト確率（PD）の範囲 | 財政状態計算書上の当初総エクスポージャー | CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー | 加重平均CCF（%） | CCF及びCRM適用後のエクスポージャー | 加重平均PD（%） | 債務者の数 | 加重平均LGD（%） | 加重平均残存期間（年） | 追加的要因反映後のリスク加重エクスポージャー | リスク加重エクスポージャーの密度（%） | 予想損失額 | 適格引当金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | | | |
| **企業** | | | | | | | | | | | | | |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | | | |
| うち特定貸付 | | | | | | | - | | - | | | | |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | | | |

| 2022年12月31日現在 *（単位：百万ユーロ）* | デフォルト確率（PD）の範囲 | 財政状態計算書上の当初総エクスポージャー | CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー | 加重平均CCF（%） | CCF及びCRM適用後のエクスポージャー | 加重平均PD（%） | 債務者の数 | 加重平均LGD（%） | 加重平均残存期間（年） | 追加的要因反映後のリスク加重エクスポージャー | リスク加重エクスポージャーの密度（%） | 予想損失額 | 適格引当金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **リテール顧客** | | | | | | | | | | | | | |
| | 0以上0.15未満 | 120,462 | 15,899 | 34 | 125,835 | 0.07 | 3,352,463 | 14 | 0 | 3,202 | 3 | 12 | 11 |
| | うち（0以上0.10未満） | 117,965 | 12,329 | 34 | 122,125 | 0.07 | 2,146,728 | 14 | 0 | 3,059 | 3 | 11 | 10 |
| | うち（0.10以上0.15未満） | 2,498 | 3,570 | 34 | 3,710 | 0.11 | 1,205,735 | 23 | 0 | 143 | 4 | 1 | 1 |
| | 0.15以上0.25未満 | 37,546 | 3,449 | 38 | 38,742 | 0.20 | 762,531 | 15 | 0 | 2,280 | 6 | 11 | 14 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | | | |

次へ

### *8.5.5　追加の定量的情報*

＜中略＞

**表33：内部格付手法－標準的手法及び内部格付手法の使用範囲（EU CR6A）**

| | 正常貸出金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2022年12月31日現在<br>*（百万ユーロ）* | 内部格付手法に基づくエクスポージャーについてCRR第166条の意味の範囲内のもの | 標準的手法及び内部格付手法に基づくエクスポージャー合計 | SAの一部利用の永続的利用に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） | 内部格付手法に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） | 展開計画に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *うちリテール顧客－不動産－非中小企業* | *154,449* | *167,592* | *5* | *92* | *3* |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *うちリテール顧客－非中小企業* | *85,493* | *124,965* | *10* | *68* | *22* |

＜中略＞

| | バリュー・アット・リスク | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2021年12月31日現在<br>*（百万ユーロ）* | 内部格付手法に基づくエクスポージャーについてCRR第166条の意味の範囲内のもの | 標準的手法及び内部格付手法に基づくエクスポージャー合計 | SAの一部利用の永続的利用に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） | 内部格付手法に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） | 展開計画に基づくバリュー・アット・リスク合計の割合（%） |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *うちリテール顧客－不動産－非中小企業* | *139,088* | *146,801* | *5* | *95* | *0* |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| *うちリテール顧客－非中小企業* | *79,692* | *113,656* | *10* | *70* | *20* |

＜中略＞

**表36：内部格付手法－エクスポージャー・クラス別のPDのバック・テスティング－（PD予測の用途のみ）（EU CR9.1）**

| エクスポージャーのカテゴリー<br>*（百万ユーロ）*<br>2022年12月31日現在 | PDの範囲 | 同等の外部格付 | 前年度の債務者の数 | うち年度中に債務不履行に陥った債務者の数 | 観測されたデフォルト率（%） | 平均PD（%） | 過去の平均年次デフォルト率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 銀行 | **0.00以上 0.15未満** | **1から2** | **321** | **-** | **0.03** | **0.06** | **0.07** |
| | 0.15以上 0.50未満 | 3 | 148 | - | 0.11 | 0.32 | - |
| | 0.50以上 10未満 | 4 | 137 | 1 | 1.21 | 1.82 | 0.35 |
| | 10.00以上 100未満 | 5から6 | 39 | - | 2.91 | 20.67 | 1.94 |
| | 100.00（デフォルト） | - | - | - | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 大企業 | **0.00以上 0.15未満** | **1から2** | **1,208** | **1** | **0.46** | **0.07** | **0.09** |
| | 0.15以上 1.50未満 | 3 | 3,856 | 19 | 0.44 | 0.59 | 0.21 |
| | 1.50以上 10未満 | 4 | 2,717 | 26 | 1.27 | 2.48 | 0.91 |
| | 10.00以上 100.00未満 | 5から6 | 314 | 4 | 9.86 | 15.86 | 5.38 |
| | 100.00（デフォルト） | - | - | - | 100.00 | 100.00 | 100.00 |

| エクスポージャーのカテゴリー<br>*（百万ユーロ）*<br>2021年12月31日現在 | PDの範囲 | 同等の外部格付 | 前年度の債務者の数 | うち年度中に債務不履行に陥った債務者の数 | 観測されたデフォルト率（%） | 平均PD（%） | 過去の平均年次デフォルト率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 銀行 | 0.00以上<br>0.15未満 | 1から2 | 312 | 1 | 0.00 | 0.06 | 0.07 |
| | 0.15以上<br>0.50未満 | 3 | 113 | - | 0.00 | 0.34 | 0.13 |
| | 0.50以上<br>10未満 | 4 | 29 | - | 0.01 | 1.91 | 0.37 |
| | 10.00以上<br>100.00未満 | 5から6 | 14 | 3 | 0.03 | 21.61 | 2.10 |
| | 100.00<br>（デフォルト） | - | - | - | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| 大企業 | 0.00以上<br>0.15未満 | 1から2 | 1,324 | - | 0.00 | 0.07 | 0.10 |
| | 0.15以上1.50未満 | 3 | 3,711 | 7 | 0.00 | 0.62 | 0.20 |
| | 1.50以上<br>10未満 | 4 | 2,353 | 20 | 0.01 | 2.60 | 0.84 |
| | 10.00以上<br>100.00未満 | 5から6 | 244 | 26 | 0.11 | 16.58 | 8.54 |
| | 100.00<br>（デフォルト） | - | - | - | 100.00 | 100.00 | 100.00 |

＜中略＞

表38：内部格付－特定融資－不動産（EU CR10.2）

| 規制カテゴリー<br>*（単位：百万ユーロ）*<br>2022年12月31日現在 | 残存期間 | バランス<br>シート額 | オフ・バランス<br>シート額 | リスク<br>加重 | バリュー・アット<br>・リスク | RWA | 予想<br>損失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

表39：内部格付－特定融資－資産（EU CR10.3）

| 規制カテゴリー<br>*（単位：百万ユーロ）*<br>2022年12月31日現在 | 残存期間 | バランス<br>シート額 | オフ・バランス<br>シート額 | リスク<br>加重 | バリュー・アット<br>・リスク | RWA | 予想<br>損失 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

## 9　カウンターパーティー・リスク（EU CCRA）

＜中略＞

表44：標準的手法－規制上のポートフォリオ及びリスク加重別のCCRエクスポージャー（EU CCR3）

| 2022年12月31日現在の<br>エクスポージャーの<br>カテゴリー<br>*（単位:百万ユーロ）* | リスク加重 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0% | 2% | 4% | 10% | 20% | 50% | 70% | 75% | 100% | 150% | その他 | 合計 |
| 政府及び中央銀行 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 地域又は地方政府 | 0 | - | - | - | - | - | - | - | 0 | - | - | 0 |
| 公共部門<br>（中央政府を除く公的機関） | 27 | - | - | - | - | - | - | - | 0 | - | - | 28 |
| 国際開発金融機関 | 16 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 16 |
| 国際組織 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金融機関（銀行） | 0 | 400 | 0 | 0 | 198 | 14 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 615 |
| 企業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 441 | 0 | 0 | 442 |
| リテール顧客 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 短期信用格付を付与された機関<br>及び企業のエクスポージャー | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の資産 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 |
| **合計** | **43** | **400** | **0** | **0** | **198** | **15** | **0** | **2** | **449** | **0** | **0** | **1,108** |

| 2021年12月31日現在の<br>エクスポージャーの<br>カテゴリー<br>*（単位:百万ユーロ）* | リスク加重 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0% | 2% | 4% | 10% | 20% | 50% | 70% | 75% | 100% | 150% | その他 | 合計 |
| 政府及び中央銀行 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域又は地方政府 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| 公共部門（中央政府を除く公的機関） | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 4 |
| 国際開発金融機関 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 国際組織 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 金融機関（銀行） | 0 | 473 | 0 | 0 | 179 | 24 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 679 |
| 企業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 365 | 0 | 0 | 365 |
| リテール顧客 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 短期信用格付を付与された機関及び企業のエクスポージャー | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の資産 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| **合計** | **1** | **473** | **0** | **0** | **179** | **24** | **0** | **3** | **375** | **0** | **0** | **1,055** |

＜中略＞

次へ

### 表45：内部格付手法－ポートフォリオ及びPD範囲別のCCRエクスポージャー（EU CCR4）IRBA手法

| 2022年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | PDの範囲 | CRM後のEAD | 加重平均PD（%） | 債務者の数 | 平均LGD（%） | 満期の平均（年） | リスク加重エクスポージャー額（RWEA） | RWAの密度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **リテール顧客** | | | | | | | | |

＜中略＞

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| うち中小企業 | | | | | | | | |

＜中略＞

### 表45 BIS：内部格付手法－ポートフォリオ及びPD範囲別のCCRエクスポージャー（EU CCR4）IRBF手法

| 2022年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | PDの範囲 | CRM後のEAD | 加重平均PD（%） | 債務者の数 | 平均LGD（%） | 満期の平均（年） | リスク加重エクスポージャー額（RWEA） | RWAの密度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

次へ

## 10　信用リスクの緩和手法（EU CRC）

＜中略＞

### 10.4　保護提供者の主要なカテゴリー

＜中略＞

表49：信用リスク緩和（CRM）－概要（EU CR3）

＜中略＞

| 2021年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | | 無担保エクスポージャー－簿価 | 保証付エクスポージャー－簿価 | 担保で保全されたエクスポージャー(1) | 金融保証で保全されたエクスポージャー | クレジット・デリバティブに保全されたエクスポージャー |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | |
| 5- | うち債務不履行となったもの | 2,290 | 3,153 | - | - | - |

＜中略＞

表50：標準的手法－信用リスク・エクスポージャー及びCRMの効果（EU CR4）

| 2022年12月31日現在のエクスポージャーのカテゴリー<br>*（単位：百万ユーロ）* | | CCF及びCRM適用前のエクスポージャー | | CCF及びCRM適用後のエクスポージャー | | RWA及びRWA密度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| 5- | 国際組織 | 1,063 | 0 | 1,063 | - | 0 | 0% |

＜中略＞

| 2021年12月31日現在のエクスポージャーのカテゴリー<br>*（単位：百万ユーロ）* | | CCF及びCRM適用前のエクスポージャー | | CCF及びCRM適用後のエクスポージャー | | RWA及びRWA密度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | オン・バランスシート額 | オフ・バランスシート額 | オン・バランスシート額 | オフ・バランスシート額 | RWA | RWA密度 |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| 6- | 金融機関（銀行） | 1,788 | 314 | 1,777 | 136 | 424 | 22% |
| 7- | 企業 | 19,552 | 17,263 | 18,522 | 3,304 | 19,307 | 88% |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| 11- | 特に高リスクなエクスポージャー | 1,427 | 187 | 1,401 | 93 | 2,226 | 149% |

＜中略＞

## 11　証券化（EU SECA）

＜中略＞

### 11.3　資本市場に関する定量的データ

＜中略＞

表54：証券化商品の残高の内訳

＜中略＞

| 国別の残高 | 2022年12月31日現在 |
|---|---|

＜中略＞

## 13　資産負債管理（ALM）リスク

＜中略＞

### 13.2　金利リスク管理（EU IRRBBA）

*13.2.1　金利リスク・ガバナンス及び管理*

＜中略＞

－　資産負債管理の主要な目的は、金利及び為替レートの変動からコマーシャル・マージンを確保し、銀行がその義務を満たすための十分な流動性を有し、流動性リスクから銀行を守ることを確実にすることである。

＜中略＞

*13.2.2　測定及び監視システム並びにヘッジ手続*

＜中略＞

－　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルについては、金利の下落に対する感応度は１年間では-3.62%（絶対値で-288百万ユーロ）、２年間では-5.63%（-447百万ユーロ）であり、リスク制限を遵守している。

＜中略＞

### 13.3　流動性リスク管理（EU LIQA）

#### *13.3.1流動性リスク管理及び戦略*

＜中略＞

－　技術的監視・管理委員会における集中的監視及び意思決定を確保する流動性リスク・ガバナンス
－　リファイナンス方針の堅持及び最適化を目的とする制限及び警告閾値に従う流動性ギャップの決定

＜中略＞

#### *13.3.5　規制上の指標及び流動性準備金*

＜中略＞

次へ

**表65：短期流動性カバレッジ比率－LCR（EU LIQ1）**

**＜中略＞**

| 2021年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | リスク加重されていない価値の合計 | | | | リスク加重された価値の合計 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2021年3月31日現在 | 2021年6月30日現在 | 2021年9月30日現在 | 2021年12月31日現在 | 2021年3月31日現在 | 2021年6月30日現在 | 2021年9月30日現在 | 2021年12月31日現在 |

**＜中略＞**

*（1）決算日ごとの平均比率は、かかる日付に先立つ12ヶ月間の純キャッシュアウトフローの平均に対する流動性バッファーの平均の比率に等しいものとする。*

**＜中略＞**

次へ

### 表67：クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結財政状態計算書における契約上の将来キャッシュ・フローの残存満期別内訳（元本及び利息）

| 2022年<br>（単位：百万ユーロ） | 1ヶ月以内(1) | 1ヶ月超3ヶ月以内 | 3ヶ月超1年以内 | 1年超2年以内 | 2年超5年以内 | 5年超 | 固定満期なし(2) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | | | |
| 2021年<br>（単位：百万ユーロ） | 1ヶ月以内(1) | 1ヶ月超3ヶ月以内 | 3ヶ月超1年以内 | 1年超2年以内 | 2年超5年以内 | 5年超 | 固定満期なし(2) | 合計 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | |

### 表68：純安定調達比率－NSFR（EU LIQ2）

| 2022年12月31日現在<br>（単位：百万ユーロ） | | 残存期間別の加重されていない価値 | | | | 加重された価値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 満期なし | ６ヶ月未満 | ６ヶ月以上１年未満 | １年以上 | |
| ＜中略＞ | | | | | | |
| 27 | 現物で取引されるコモディティ | - | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ＜中略＞ | | | | | | |

| 2021年12月31日現在<br>（単位：百万ユーロ） | | 残存機関別の加重されていない価値 | | | | 加重された価値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 満期なし | ６ヶ月未満 | ６ヶ月以上１年未満 | １年以上 | |
| **利用可能な安定調達額** | | | | | | |
| 1 | 資本及び金融商品 | 49,912 | 0 | 0 | 6,989 | 56,901 |
| 2 | 株主資本 | 49,912 | 0 | 0 | 6,989 | 56,901 |
| 3 | その他の資本性金融商品 | - | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | リテール顧客預金 | - | 255,257 | 220 | 1,321 | 239,974 |
| 5 | 安定した預金 | - | 174,310 | 176 | 1,249 | 167,010 |
| 6 | 不安定な預金 | - | 80,947 | 45 | 72 | 72,964 |
| 7 | ホールセール資金調達 | - | 206,458 | 24,975 | 118,746 | 190,832 |
| 8 | オペレーショナル預金 | - | 22,137 | 0 | 0 | 11,068 |
| 9 | その他のホールセール資金調達 | - | 184,321 | 24,975 | 118,746 | 201,900 |
| 10 | 相互依存コミットメント | - | 32,024 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | その他のコミットメント | 909 | 12,003 | 1,706 | 4,314 | 5,167 |
| 12 | NSFRに影響するデリバティブ・コミットメント | 909 | - | - | - | - |
| 13 | 前記のカテゴリーに含まれないその他全ての資本コミットメント | - | 12,003 | 1,706 | 4,314 | 5,167 |
| 14 | **利用可能な安定調達額合計** | - | - | - | - | 492,874 |
| 安定調達要件 | | | | | | |
| 15 | 適格流動資産（HQLA）合計 | - | - | - | - | 2,069 |
| EU-15a | カバー・プールの残存期間が１年以上の担保資産 | - | 1,489 | 1,509 | 29,040 | 27,232 |
| 16 | その他の金融機関が保有する業務上の目的で他の金融機関と保有している預金 | - | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 17 | 正常貸出金及び有価証券 | - | 79,609 | 30,813 | 354,303 | 390,924 |
| 18 | レベル１の適格流動資産に保証され、０％のヘアカット率の対象となる、金融顧客との間で実行する正常な有価証券の金融取引 | - | 3,920 | 2,501 | 0 | 2,082 |
| 19 | その他の資産並びに金融機関に対する貸出金及び前渡金に保証された金融顧客との間で実行する正常な有価証券の金融取引 | - | 16,160 | 1,737 | 12,758 | 15,940 |
| 20 | 非金融企業に対する正常貸出金、リテール顧客及び中小企業向け正常貸出金並びに国家機関や公共部門事業体向けの正常貸出金、うち： | - | 36,356 | 17,698 | 129,519 | 146,653 |
| 21 | 信用リスクに関する標準化されたバーゼルⅡアプローチに基づく35%以下のリスク加重 | - | 1,993 | 1,623 | 3,605 | 9,170 |
| 22 | 正常な住宅ローン、うち： | - | 9,156 | 8,220 | 181,847 | 140,911 |
| 23 | 信用リスクに関する標準化されたバーゼルⅡアプローチに基づく35%以下のリスク加重 | - | 6,131 | 5,154 | 111,735 | 78,270 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| *24* | *債務不履行に陥っておらず、かつ、取引所で取引されている株式やオン・バランスシートの商業信用商品を含む、適格流動資産とはみなされないその他の貸出金や証券* | - | *14,016* | *656* | *30,179* | *30,874* |
| 25 | 相互依存資産 | - | 32,024 | 0 | 0 | 0 |
| 26 | その他の資産 | - | - | - | - | - |
| *27* | *現物で取引されるコモディティ* | - | - | - | *0* | *0* |
| *28* | *デリバティブ契約の当初証拠金として提供された資産及びCCPのデフォルト・ファンドへの貢献* | - | | | *1,273* | *1,082* |
| *29* | *NSFRに影響するデリバティブ・コミットメント* | - | | | *393* | *393* |
| *30* | *提供された変動証拠金控除前のNSFRに影響を与えるデリバティブ・コミットメント* | - | | | *2,861* | *143* |
| *31* | *前記のカテゴリーに含まれないその他全ての資本コミットメント* | - | *20,481* | *1,122* | *14,932* | *20,809* |
| 32 | オフ・バランスシート項目 | - | 83,134 | 95 | 48 | 4,355 |
| **33** | **所要安定調達額合計** | **-** | **-** | **-** | **-** | **392,543** |
| **34** | **純安定調達比率（%）** | **-** | **-** | **-** | **-** | **125.6%** |

＜中略＞

## 14　オペレーティング・リスク（EU ORA）

＜中略＞

### 14.1　主な目的

＜中略＞

－　経済の観点から、全事業のリスクを徹底的に管理し、特定されたリスクに保険契約を適合させることにより利益を確保すること。

＜中略＞

### 14.2　測定及び管理手続

＜中略＞

#### *14.2.2　AMA手法の承認範囲*

＜中略＞

グラフ15：2020年12月31日現在の評価手法別オペレーショナルRWAの内訳（EU OR2）

＜中略＞

### 14.7　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの債権の内訳

＜中略＞

グラフ16：事業分野及びリスク事象別の年間損失額（EU OR1）

＜中略＞

### 14.8　特殊なオペレーティング・リスク

**法的リスク**

法的リスクは、オペレーショナル・リスクに組み込まれ、その運営に関連する会社による過失に起因する罰金、課徴金及び損害賠償へのエクスポージャーが含まれるが、これらに限定されない。

＜中略＞

## 15　担保権が設定されている資産及び担保権が設定されていない資産の概要（EU　AE4）

＜中略＞

表69：担保権が設定されている資産及び担保権が設定されていない資産(1)（EU AE1）

| 2022年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | | 担保権が設定されている資産の簿価 | うちHQLA及びEHQLA | 担保権が設定されている資産の公正価値 | うちHQLA及びEQOLA | 担保権が設定されていない資産の簿価 | うちHQLA及びEHQLA | 担保権が設定されていない資産の公正価値 | うちHQLA及びEHQLA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 010 | 機関の資産 | 93,355 | 5,575 | - | - | 667,576 | 28,645 | - | - |

＜中略＞

| 2021年12月31日現在<br>*（単位：百万ユーロ）* | 担保権が設定されている資産の簿価 | うちHQLA及びEHQLA | 担保権が設定されている資産の公正価値 | うちHQLA及びEQOLA | 担保権が設定されていない資産の簿価 | うちHQLA及びEHQLA | 担保権が設定されていない資産の公正価値 | うちHQLA及びEHQLA |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 010 | 機関の資産 | 92,500 | 6,840 | - | - | 621,774 | 28,878 | - | - |

＜中略＞

表71：担保権が設定されている資産／担保された負債の簿価 (1) （EU AE3）

＜中略＞

| *2021年12月31日*<br>*（単位：百万ユーロ）* | | 関連する負債、偶発債務又は貸付有価証券 | 受領した資産、保証及び保証付社債以外の発行済の自己の負債証券並びに担保権が設定されている資産に担保された有価証券 |
|---|---|---|---|
| 010 | 選定された金融負債の簿価 | 83,068 | 89,842 |

*（1）数値は経過年の四半期末データの中央値である。*

2021年12月31日現在、CMNEから受領した金融負債および保証付き資産の帳簿価額は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの類似の金額の約２％に相当する。

＜中略＞

**16.1　純損益を通じて公正価値で測定する金融資産**

売買目的で保有しているエクイティ・ポートフォリオは、2021年12月31日時点で732百万ユーロであったのに対し、2022年12月31日時点で731百万ユーロであった。これはCICの資本市場のみに関連している（「第一部　企業情報／第６　経理の状況／１　財務書類／連結財務書類の注記５ａ／純損益を通じて公正価値で測定する金融資産」を参照のこと。）。主にプライベート・エクイティ事業部門に関連する純損益を通じてその他の公正価値として認識されているエクイティは、4,129百万ユーロであった。「純損益を通じてその他の公正価値」として認識される長期投資は、2022年12月31日の時点で909百万ユーロに達し、そのうち371百万ユーロが株式投資、166百万ユーロがその他の長期投資であった。

＜中略＞

**17　プライベート・エクイティ**

＜中略＞

表72：プライベート・エクイティ事業に関連するリスク

| プライベート・エクイティ事業に関連するリスク | 2022年12月31日現在 | 2021年12月31日現在 |
|---|---|---|

＜中略＞

**18　環境・社会的・ガバナンス・リスク**

＜中略＞

**18.1　環境及び気候リスクに関する定性的情報**

＜中略＞

**h)　環境リスクに関する報告ライン及び報告頻度**

＜中略＞

2023年から適用されるリスク選好フレームワークには、気候及び環境リスクの監視専用の２つの指標が含まれている。

＜中略＞

**18.2　環境及び気候リスクに関する定量的情報**

＜中略＞

次へ

## 表73：モデル１：バンキング・ポートフォリオ－気候変動に関連する可能性のある移行リスクの指標：セクター、排出量及び残存期間別のエクスポージャー

| | a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | m | n | o | p |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 簿価（百万ユーロ） | | | | | 減損累計額、信用リスク及び引当金による公正価値のマイナス変動累計額 | | | GHG排出量による資金調達（カウンターパーティーのカテゴリー１、２及び３の排出）（二酸化炭素排出量（単位：トン）、相当量） | | | | | | | |
| セクター／サブセクター | | うち規則(EU) 2020/1818第12条(1)（d）から(g)及び第12条(2)に従い、組合の「パリ協定」ベンチマークから除外される企業に対するエクスポージャー | うち環境的に持続可能（CCM）なもの | うちステージ２のエクスポージャー | うち不良エクスポージャー | | うちステージ２のエクスポージャー | うち不良エクスポージャー | | GHG排出量による資金調達（カウンターパーティーのカテゴリー１、２及び３の排出）（二酸化炭素排出量(単位：トン)、相当量) | GHG排出（i欄）：企業固有の宣言に基づくポートフォリオの総帳簿価額の割合 | ５年以下 | ５年超10年以下 | 10年超20年以下 | 20年超 | 加重平均満期 |
| 1-気候変動に重大な影響を及ぼすセクターに対するエクスポージャー(1) | 164,147 | 908 | - | 11,124 | 5,031 | -2,849 | -530 | -1,992 | - | - | - | 54,309 | 55,351 | 46,177 | 8,310 | 8.9 |

＜中略＞

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 53-気候変動に重大な影響を及ぼさないセクターに対するエクスポージャー(1) | 94,002 | 23 | - | 10,075 | 2,394 | -1,491 | -337 | -967 | - | - | - | 30,055 | 30,931 | 19,076 | 13,940 | 1.5 |

＜中略＞

次へ

**表75：テンプレート４：バンキング・ポートフォリオ－気候変動に関連する可能性のある移行リスクの指標：炭素集約型企業上位20社に対するエクスポージャー**

| a | B | d | E |
|---|---|---|---|
| 簿価（総額） | 簿価（総額）に対するカウンターパーティー・エクスポージャーの簿価（総額）の合計 (1) | 加重平均満期 | 汚染企業上位20社に含まれる企業の数 |
| 310 | 0.04% | 2.4 | 3＊ |

＜中略＞

**表76：テンプレート５：バンキング・ポートフォリオ－気候変動に関連する可能性のある移行リスクの指標：物理的なリスクに影響を受けるエクスポージャー**

＜後略＞

② 社会的及び相互的責任

＜訂正前＞

＜前略＞

**４　構成員及び顧客に関する目標**

＜中略＞

**4.3　リスク管理**

＜中略＞

*腐敗防止体制の詳細*

＜中略＞

・　腐敗に関するリスクマッピング及び利益相反

＜中略＞

*脱税防止体制の詳細*

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、フランス国内及びその拠点が設置された外国において、国際的な納税義務の遵守を改善し、納税に関する透明性を実現することを目的としたあらゆる規制（特に、2011年２月15日付税務分野における行政協力に係るEU指令2011／16（その後の改正を含む。「DAC１指令」）、2014年12月９日付共通報告基準に基づく財務諸表に係る自動的な情報交換（「AEI」）EU指令2014／107（「DAC２指令」）、及び2018年５月25日付報告対象となるクロスボーダー取引に関連して租税の分野における強制的な情報の自動的交換についてのEU号指令2018／822（「DAC６指令」）を含む。）を履行している。

＜中略＞

**５　ガバナンス目標**

＜中略＞

**5.2　構成員の強化**

＜中略＞

*教育と研修* *(1)*

**構成員の開拓**

| | |
|---|---|
| 新規顧客との関係を始めるときに相互共済との相違点を説明していますか？ | 992行の地元銀行において、はい（74.6%） |
| 資料は提供されていますか？ | 618行の地元銀行において、はい（46.6%） |
| 新規構成員のために説明会を行ったことはありますか？ | 109行の地元銀行において、はい（8.2%） |
| 総会に招待されることを伝えましたか？ | 353行の地元銀行において、はい（26.6%） |

＜中略＞

**８　環境目標**

**8.1　グループの環境への影響の低減**

＜中略＞

*クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのカーボンフットプリント削減策*

**エネルギー節減計画の立上げ**

＜中略＞

・　照明看板及び就業時間外のオフィス証明の消灯：本店、クレディ・ミュチュエルの地元銀行及びCICの支店の全ての照明看板は、昼夜消灯する。この措置は、技術的適応が必要な組織については11月１日までに適用された。さらに、施設の電灯は終業時に消灯される。照明は全体で銀行の支店のエネルギー消費の15%に相当する。

＜中略＞

**ISO 50001認証**

＜中略＞

当該事業分野の子会社CSSにより創設され、2020年12月にISO 50001の認証を受けたこのシステムは、全ての三次建築物（基準年は2018年度）、データセンター及び保有車両のエネルギー性能を監視するものであり、2022年10月の第２回統制監査の対象となった。この監査は、エネルギー性能管理全体と、ホストコンピュータサイト、データセンター及び支店の日常生活への統合の両方を対象とするものであった。監査報告書で明らかとなった不遵守は全て軽微なものであり、その結果認証が確認された。

＜中略＞

**ヴォルタリア（Voltalia）とのパートナーシップ**

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、グリーン電力の供給を受けるため、フランスの再生可能エネルギーの生産と再販売を行うヴォルタリアとの25年契約を締結した。この契約は、フランスでの太陽光発電所の建設について規定している。この発電所の予測発電量は、グループの総電力消費量の約５％に相当する。PACA地域の農業に向かない塩分を含んだ土地に置かれる工業団地には、アルザス地方の会社であるヴォルテック・ソーラー（Voltec Solar）社製の太陽電池パネルが設置されることとなっており、操業開始は2024年度第４四半期に予定されている。このパートナーシップは、カーボンフットプリントを削減し、社会及び環境の観点から、変化の責任ある主体でありたいというクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの願いを示すものである。

＜中略＞

**8.2　高品質かつ責任あるサービスによるソリューション及び商品の強化**

＜中略＞

*クレディ・ミュチュエル・アセット・マネジメント*

＜中略＞

クレディ・ミュチュエル・アセット・マネジメントは、15年以上にわたる責任あるコミットメントを背景として、全ての資産管理を持続可能かつ責任ある融資手法へ移行させることを決断している。この取り組みは、SRIファンドの品揃えの拡大とESGの統合促進を目的として、ESGデータの複数の提供者と気候専門家に依拠する独自の非財務分析モデルを中心に構成されている。

＜中略＞

**8.4　気候リスクの管理**

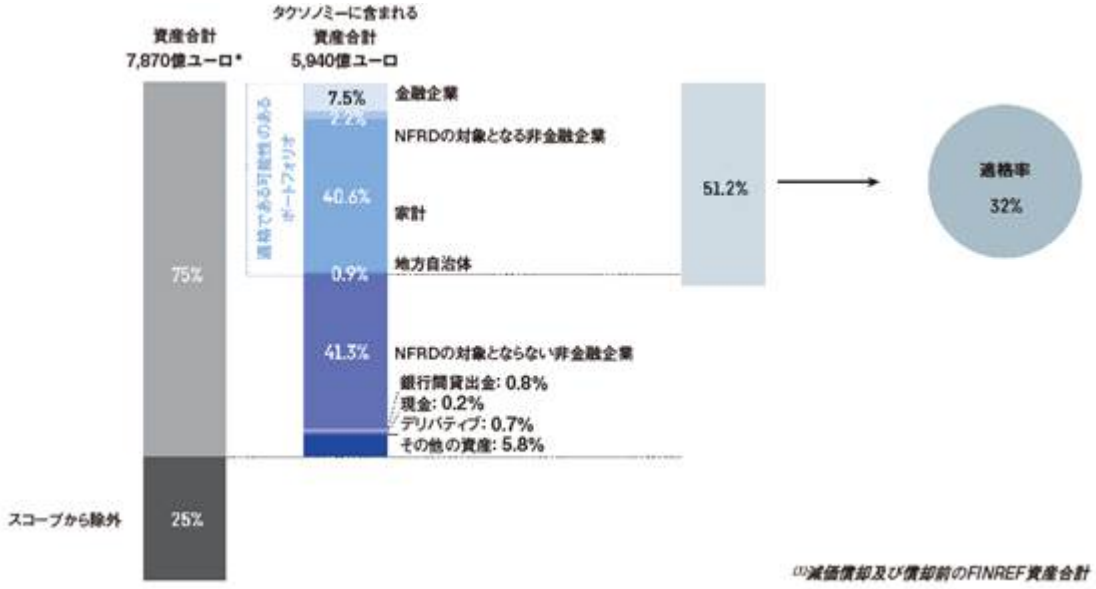
＜中略＞

気候変動に関連したリスク（物理的リスク及び移行リスク）の管理は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの財務リスク管理システム(1)に組み込まれている。展開中の全てのプロジェクトはクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのSMRガバナンス委員会、リスク委員会（執行機関）に提出された後、リスク監視委員会（審議機関）に提出されるが、このプロセスは、会長及び経営陣と直接連携した戦略的リスク管理の一部となっている。

＜中略＞

*ポートフォリオの適合性*

**適合性に関する分析結果の詳細**




＜中略＞

**8.5　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのセクター別方針**

＜中略＞

*ネットワークにおける融資へのESG基準の導入*

＜中略＞

当該企業のやり取りを通じて、アカウント・マネージャーは年に１回以上、スコアの取得を目的として、ESGグリッドに記入する。この評価はカウンターパーティーのCSR業績に相当する。グリッドへの記入はアカ

ウント・マネージャーの責任であり、これに基づいてコミットメント委員会にファイルが提出され、融資承認が決定される。各地方銀行及びBECMにはCSR委員会が設けられており、諮問機関として、取引開始、融資の承認又は銀行のプロジェクトの毎年の更新時に、社会・環境・ガバナンス問題が発生する可能性の高いプロジェクトについて意見を表明することを任務としている。また、銀行のプロジェクト分析手法を発展させることも同委員会の目的である。ESGのアンケートでスコアがD以下であったプロジェクトについては、CSR委員会に照会しなければならない。この手法の導入は2023年度も引き続き連合体において行われる予定である。

＜中略＞

*セクター別方針の焦点*

＜中略＞

*輸送セクターの方針*

＜中略＞

*道路輸送*

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、法人市場でのリース、クレジット、鉄道貨物・旅客資産への融資を、最も炭素排出量の少ない資産に集中させている。融資の対象となるのは、少なくともユーロ６規格を満たす小型商用車及び産業用車両のみである。

グループは、以下に示す性質が１つでも示される場合は、採炭又は冶金施設の開発、建設又は拡大に関連して直接的に行われる投融資に今後は介入しないことを約束している。すなわち、アスベスト鉱山及び小規模鉱山に関するプロジェクト、ラムサール・リストに掲載されている保護区又は湿地区域及びユネスコの世界遺産に重大な影響を与えるプロジェクトである。

＜中略＞

*鉱業セクターの方針*

この方針は、使用される採鉱資源又は抽出手順にかかわらず、採掘会社向けの全ての金融取引に適用されるものであり、鉱石の調査から輸送までセクター全体をカバーしている。

＜中略＞

**９　テクノロジー部門のCSR**

＜中略＞

**9.2　テクノロジー部門（ユーロ－アンフォルマシオン（EI））に関する特定の報告**

＜中略＞

**社会的及び環境的な問題が調達方針において考慮されていないという事実**

＜中略＞

・　供給業者のとの関係構築のための手順の実施と更新

＜中略＞

**「グループの事業体の社内活動において廃棄物を抑制し管理するシステムがない」シナリオに対する予防策**

＜中略＞

*責任ある調達及びライフサイクル*

＜中略＞

**IP電話管理**

＜中略＞

グループは４年間にわたってプラチナ・レベルに達しており（2020年度には3,854本、2019年度は3,850本、2018年度は3,848本、2017年度は3,598本の植樹が行われた。）、これは36,305キログラムの$CO_2$削減に相当した。2021年度のCONNEXINGによる$CO_2$削減は66キログラムにとどまった。2021年度におけるこの急速な減少は、ソフトフォニーの導入によってIP電話の購入が停止したためである。CONNEXINGとのパートナーシップは、ソフトフォニーへの完全移行とIP電話の購入中止により、2022年度に終了した。

**電力以外の廃棄物の削減及び処理**

＜中略＞

**「ITセキュリティの欠陥」シナリオに対する予防策**

＜中略＞

*情報システム（IS）のセキュリティ*

＜中略＞

2020年４月より、ユーロ－アンフォルマシオンには、レッドチームが設置された。このチームの役割は、模擬攻撃を行い、技術的、物理的、人的な様々な保護手段を検証することで、会社全体のセキュリティを評

価することである。レッドチームによるキャンペーンは、情報システム全般のセキュリティレベルを評価することに加えて、侵入を検知した際のブルーチームの行動や反応評価・改善することを可能にする。したがって、レッドチームは、セキュリティと会社の要求事項への適合性を評価することに加えて、セキュリティ・インシデントの検出・対応手段を改善・検証するために、ブルーチームと密接に連携している。

＜中略＞

この最初の成功を受けて、2020年４月30日のバッチ1.0の認証更新、2021年度にはバッチ1.1（これも取得範囲である。）及びバッチ1.2への拡張の認証を取得し、新たなマイルストーンを達成した。この環境は450台超のサーバー、1,100台超のテクニカル・コンポーネントと200のアプリケーションに拡張された。この専用環境は、非常に限定されたアクセス方法でのみアクセスすることができる。アプリケーションとシステムは、コードの精査、マシン構成の精査、アクセスの精査等についての極めて厳格な規則の対象となる。

＜中略＞

**グループが管理する要素である様々な社会、ガバナンス、企業のシナリオに加えて実施された活動**

＜中略＞

*アプリケーションのアクセシビリティ*

＜中略＞

ユーロ－アンフォルマシオンの人間工学ウェブサイトのアクセシビリティ・ポータルでは、開発チームや各社のウェブマスターが利用できる、アクセシビリティ、法的義務、ソリューション及びツールに関する文書にアクセスすることができる。ATMでのアクセシビリティは10年以上前から考慮されている。ヘッドセットを装着したATMで、ヘッドセットジャックが設置されたATMであれば口座所持人が誰でも利用できる迅速な引き出し機能（カード口座からの引き出し）により、音声アシスタントによる引き出しが可能である（フランスではフランス語と英語での利用が可能である）。

デジタル・アクセシビリティ法に関連する2019年７月25日付政令は、年間収益が250百万ユーロ以上のプライベート・セクターの企業に対して、個人、顧客又は従業員が、視覚、聴覚、認知及び／又は身体的な障害を持つか否かにかかわらず、デジタル・インターネット、イントラネット、エクストラネット・サービス、モバイル・アプリケーションへのアクセスができるよう保証することを要求している。各ユーザーは、差別されることなく、グループのデジタル・メディア上で容易に認識し、理解し、操作し、また、相互作用できなければならない。フランスの規制は、一般的なアクセシビリティ向上のための枠組み（Référentiel général d'amélioration de l'accessibilité）（RGAA）に基づいており、満たすべき基準を106項目列挙している。

アクセシビリティ部門は、プロジェクトに参加した21のグループ事業体のウェブサイトとモバイル・アプリケーションのコンプライアンスを確保する。その目的は、50%以上の遵守率で、部分的な遵守レベルに移行することである。対象範囲の127のサイトとアプリケーションのうち、監査を受けたサイトとアプリケーションの35%が、初回の監査から50%以上のアクセシビリティ率を得た。サイト及びアプリケーションの61%が監査対象であるか又は監査中である。この割合で、対象範囲の全体が３年間に監査を受ける。これは、法で要求される最大割合に相当する。ユーロ－アンフォルマシオンの購買チームによる枠組み合意の実施により、コストが最適化された。

＜中略＞

*職場における生活の質（QLW）の範囲*

グループでは、カーボンフットプリントの向上を図るための取り組みとして、従業員の通勤の適正化を図っている。このプラットフォームである7ème sens（第七感）は、2022年３月にCIC・ウエスト銀行内で試験的に運用開始され、６月にクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル全体に展開された。これにより、全ての従業員が、職場や研修コースへの通勤ルートを申請するか、又は車内の利用可能な座席若しくは逆に通勤ルート上で必要な座席の指定ができるようになる。リクエストされた通勤ルートが利用可能になった場合、従業員はアラートを受け取る。３月以降、800名以上の従業員が登録し、400パターンの通勤ルートが提案されている。片道又は往復の相乗りのために約600組がマッチングされた。この結果9,600㎞と推定1.5トンの$CO_2$が削減された。

＜中略＞

**10　メディア部門のCSR方針**

＜中略＞

**10.2　メディア部門に関する特定の報告**

＜中略＞

*環境責任*

＜中略＞

・　グループの廃棄物管理方針を策定し、ペルナン（Perlen）製紙工場とのパートナーシップ締結によりサーキュラーエコノミーを推進すること。これにより、地元で古紙が直接新聞紙にリサイクルされ、その結果経路の短縮が可能となる。

＜中略＞

**11　注意義務計画**

＜中略＞

**11.3　注意義務計画における措置**

＜中略＞

***11.3.1　社会及び環境リスクのマッピング***

＜中略＞

**３．　リスクの分類**

＜中略＞

各分野（人権、基本的事由、人の健康及び安全、環境）について、主要なリスクを特定する作業が行われた。これらのリスクは（専門家による）分析を受けており、総リスクと残余リスクの概念に基づいて二つの側面の評価が行われた。総リスク(1)は、リスクの発生確率及び頻度、並びに個別の事案が事業体の活動及び顧客に提供されるサービスに及ぼしうる影響を検討する。

＜中略＞

***11.3.3　リスクの軽減及び防止策***

＜中略＞

**１．　カスタマー・リレーションズ**

＜中略＞

**c)　ITセキュリティ管理システム**

＜中略＞

2020年度及び2021年度にはパンデミックによりサイバー攻撃が増加した。現在のリスクに関する従業員の認知を高める活動、技術的検知及び保護対策に加えて、セキュリティチーム内の組織的な対策によってセキュリティは強化されてきた。レッドチームは、潜在的なセキュリティ上の欠陥を特定し、攻撃を検知し対応する手段を検証し、「倫理的なハッカー」のビジョンを開発チームに伝えることを主な任務として設置された。

＜中略＞

**i)　事業分野におけるESG基準の統合（SOT88）**

＜中略＞

**責任ある持続可能な金融**

＜中略＞

グループ・ラ・フランセーズは、市場に開かれ、100%持続可能なファンド群を擁するという戦略的目標を追求している。グループ・ラ・フランセーズの各部門（金融資産又は不動産）では、資産の半分以上が、SFDR第８条又は第９条ファンド、すなわち持続可能性基準を尊重し又は環境的・社会的業績目標を定めているファンドに分類されている。

＜中略＞

**３．　従業員との関係**

＜中略＞

**実施された措置**

＜中略＞

**b）　社内の従業員の活動による環境への直接的影響を防止すること**

2019-2023年戦略計画（アンサンブル＃ヌーボーモンド、プリュ・ヴィット！プリュ・ロワン！（ensemble#nouveaumonde, plus vite, plus loin!）（共に＃今日の世界、より速く！より遠くへ！））の一環として、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、フランスにおけるグループ内の二酸化炭素排出量を30%削減することに取り組んでいる。このような背景から、体系的なエネルギー管理手法を導入している（2020年度にAFNORから発行され、2021年度に確認されたISO 50001の認証）。その活動により、紙の消費量の削減及び廃棄物のリサイクルに本質的に取り組む予防策がとられた。

＜後略＞

＜訂正後＞

＜前略＞

## ４　構成員及び顧客に関する目標

＜中略＞

### 4.3　リスク管理

＜中略＞

*腐敗防止体制の詳細*

＜中略＞

・　腐敗及び利益相反に関するリスクマッピング

＜中略＞

*脱税防止体制の詳細*

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、フランス国内及びその拠点が設置された外国において、国際的な納税義務の遵守を改善し、納税に関する透明性を実現することを目的としたあらゆる規制（特に、2011年２月15日付税務分野における行政協力に係るEU指令2011／16（その後の改正を含む。「DAC１指令」）、2014年12月９日付共通報告基準に基づく財務諸表に係る自動的な情報交換（「AEI」）EU指令2014／107（「DAC２指令」）、及び2018年５月25日付報告対象となるクロスボーダー取引に関連して租税の分野における強制的な情報の自動的交換についてのEU指令2018／822（「DAC６指令」）を含む。）を履行している。

＜中略＞

## ５　ガバナンス目標

＜中略＞

### 5.2　構成員の強化

＜中略＞

*教育と研修* (1)

**構成員の開拓**

| | |
|---|---|
| 新規顧客との関係を始めるときに相互共済との相違点を説明していますか？ | 992行の地元銀行において、はい（74.6%） |
| 資料は提供されていますか？ | 618行の地元銀行において、はい（46.6%） |
| 新規構成員のために説明会を行ったことはありますか？ | 109行の地元銀行において、はい（8.2%） |
| 総会に招待されることを伝えましたか？ | 353行の地元銀行において、はい（26.6%） |

(1) *CMNEを除いたデータ*

＜中略＞

## ８　環境目標

### 8.1　グループの環境への影響の低減

＜中略＞

*クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのカーボンフットプリント削減策*

**エネルギー節減計画の立上げ**

＜中略＞

・　照明看板及び就業時間外のオフィス照明の消灯：本店、クレディ・ミュチュエルの地元銀行及びCICの支店の全ての照明看板は、昼夜消灯する。この措置は、技術的適応が必要な組織については11月１日までに適用された。さらに、施設の電灯は終業時に消灯される。照明は全体で銀行の支店のエネルギー消費の15%に相当する。

＜中略＞

**ISO 50001認証**

＜中略＞

当該事業分野の子会社CSSにより創設され、2020年12月にISO 50001の認証を受けたこのシステムは、全ての第三次産業の建築物（基準年は2018年度）、データセンター及び保有車両のエネルギー性能を監視するものであり、2022年10月の第２回統制監査の対象となった。この監査は、エネルギー性能管理全体と、ホストコンピュータサイト、データセンター及び支店の日常生活への統合の両方を対象とするものであった。監査報告書で明らかとなった不遵守は全て軽微なものであり、その結果認証が確認された。

＜中略＞

**ヴォルタリア（Voltalia）とのパートナーシップ**

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、グリーン電力の供給を受けるため、フランスの再生可能エネルギーの生産と再販売を行うヴォルタリアとの25年契約を締結した。この契約は、フランスでの太陽光発電所の建設について規定している。この発電所の予測発電量は、グループの総電力消費量の約５％に相当する。プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏の農業に向かない塩分を含んだ土地に置かれる工業団地には、アルザス地方の会社であるヴォルテック・ソーラー（Voltec Solar）社製の太陽電池パネルが設置されることとなっており、操業開始は2024年度第４四半期に予定されている。このパートナーシップは、カーボンフットプリントを削減し、社会及び環境の観点から、変化の責任ある主体でありたいというクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの願いを示すものである。

＜中略＞

**8.2　高品質かつ責任あるサービスによるソリューション及び商品の強化**

＜中略＞

*クレディ・ミュチュエル・アセット・マネジメント*

＜中略＞

クレディ・ミュチュエル・アセット・マネジメントは、15年超にわたる責任あるコミットメントを背景として、全ての資産管理を持続可能かつ責任ある融資手法へ移行させることを決断している。この取り組みは、SRIファンドの品揃えの拡大とESGの統合促進を目的として、ESGデータの複数の提供者と気候専門家に依拠する独自の非財務分析モデルを中心に構成されている。

＜中略＞

**8.4　気候リスクの管理**

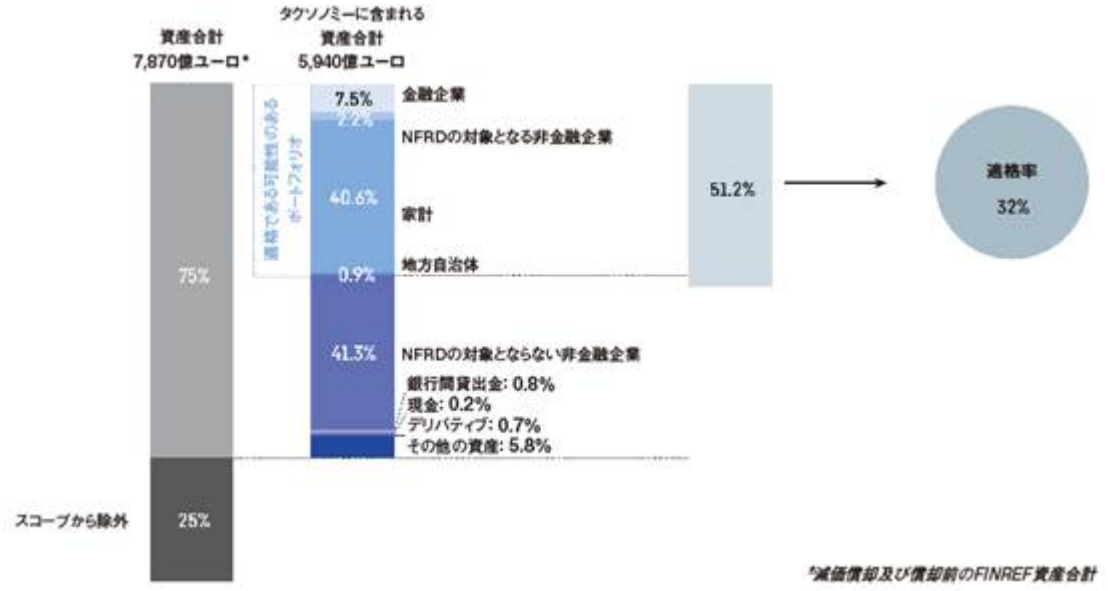
＜中略＞

気候変動に関連したリスク（物理的リスク及び移行リスク）の管理は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの財務リスク管理システムに組み込まれている。展開中の全てのプロジェクトはクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのSMRガバナンス委員会、リスク委員会（執行機関）に提出された後、リスク監視委員会（審議機関）に提出されるが、このプロセスは、会長及び経営陣と直接連携した戦略的リスク管理の一部となっている。

＜中略＞

*ポートフォリオの適合性*

**適合性に関する分析結果の詳細**




＜中略＞

**8.5　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのセクター別方針**

＜中略＞

*ネットワークにおける融資へのESG基準の導入*

＜中略＞

当該企業のやり取りを通じて、アカウント・マネージャーは年に１回以上、スコアの取得を目的として、ESGグリッドに記入する。この評価はカウンターパーティーのCSR業績に相当する。グリッドへの記入はアカウント・マネージャーの責任であり、これに基づいてコミットメント委員会にファイルが提出され、融資承認が決定される。各地方銀行及びBECMにはCSR委員会が設けられており、諮問機関として、取引開始、融資の

承認又は銀行のプロジェクトの毎年の更新時に、社会・環境・ガバナンス問題が発生する可能性の高いプロジェクトについて意見を表明することを任務としている。また、銀行のプロジェクト分析手法を発展させることも同委員会の目的である。ESGのアンケートでスコアがD-以下であったプロジェクトについては、CSR委員会に照会しなければならない。この手法の導入は2023年度も引き続き連合体において行われる予定である。

＜中略＞

*セクター別方針の焦点*

＜中略＞

*輸送セクターの方針*

＜中略＞

*道路輸送*

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、法人市場でのリース、クレジット、鉄道貨物・旅客資産への融資を、最も炭素排出量の少ない資産に集中させている。融資の対象となるのは、少なくともユーロ６規格を満たす小型商用車及び産業用車両のみである。

＜中略＞

*鉱業セクターの方針*

この方針は、使用される採鉱資源又は抽出手順にかかわらず、採掘会社向けの全ての金融取引に適用されるものであり、鉱石の調査から輸送までセクター全体をカバーしている。

グループは、以下に示す性質が１つでも示される場合は、採炭又は冶金施設の開発、建設又は拡大に関連して直接的に行われる投融資に今後は介入しないことを約束している。すなわち、アスベスト鉱山及び小規模鉱山に関するプロジェクト、ラムサール・リストに掲載されている保護区又は湿地区域及びユネスコの世界遺産に重大な影響を与えるプロジェクトである。

＜中略＞

**９　テクノロジー部門のCSR**

＜中略＞

**9.2　テクノロジー部門（ユーロ－アンフォルマシオン（EI））に関する特定の報告**

＜中略＞

**社会的及び環境的な問題が調達方針において考慮されていないという事実**

＜中略＞

・　供給業者との関係構築のための手順の実施と更新

＜中略＞

**「グループの事業体の社内活動において廃棄物を抑制し管理するシステムがない」シナリオに対する予防策**

＜中略＞

*責任ある調達及びライフサイクル*

＜中略＞

**IP電話管理**

＜中略＞

グループは４年間にわたってプラチナ・レベルに達しており（2020年度には3,854本、2019年度は3,850本、2018年度は3,848本、2017年度は3,598本の植樹が行われた。）、これは2020年度において36,305キログラムの$CO_2$削減に相当した。2021年度のCONNEXINGによる$CO_2$削減は66キログラムにとどまった。2021年度におけるこの急速な減少は、ソフトフォニーの導入によってIP電話の購入が停止したためである。CONNEXINGとのパートナーシップは、ソフトフォニーへの完全移行とIP電話の購入中止により、2022年度に終了した。

**電子機器以外の廃棄物の削減及び処理**

＜中略＞

**「ITセキュリティの欠陥」シナリオに対する予防策**

＜中略＞

*情報システム（IS）のセキュリティ*

＜中略＞

2020年４月より、ユーロ－アンフォルマシオンには、レッドチームが設置された。このチームの役割は、模擬攻撃を行い、技術的、物理的、人的な様々な防御手段を検証することで、会社全体のセキュリティを評価することである。レッドチームによるキャンペーンは、情報システム全般のセキュリティレベルを評価す

ることに加えて、侵入を検知した際のブルーチームの行動や反応評価・改善することを可能にする。したがって、レッドチームは、セキュリティと会社の要求事項への適合性を評価することに加えて、セキュリティ・インシデントの検出・対応手段を改善・検証するために、ブルーチームと密接に連携している。

＜中略＞

この最初の成功を受けて、2020年４月30日のバッチ1.0の認証更新、2021年度にはバッチ1.1（これも取得範囲である。）及びバッチ1.2への拡張の認証を取得し、新たなマイルストーンを達成した。この環境は450台超のサーバー、1,100台超のテクニカル・コンポーネントと200超のアプリケーションに拡張された。この専用環境は、非常に限定されたアクセス方法でのみアクセスすることができる。アプリケーションとシステムは、コードの精査、マシン構成の精査、アクセスの精査等についての極めて厳格な規則の対象となる。

＜中略＞

**グループが管理する要素である様々な社会、ガバナンス、企業のシナリオに加えて実施された活動**

＜中略＞

*アプリケーションのアクセシビリティ*

＜中略＞

ユーロ－アンフォルマシオンの人間工学ウェブサイトのアクセシビリティ・ポータルでは、開発チームや各社のウェブマスターが利用できる、アクセシビリティ、法的義務、ソリューション及びツールに関する文書にアクセスすることができる。ATMでのアクセシビリティは10年超前から考慮されている。ヘッドセットを装着したATMで、ヘッドセットジャックが設置されたATMであれば口座所持人が誰でも利用できる迅速な引き出し機能（カード口座からの引き出し）により、音声アシスタントによる引き出しが可能である（フランスではフランス語と英語での利用が可能である）。

デジタル・アクセシビリティ法に関連する2019年７月25日付政令は、年間収益が250百万ユーロ超のプライベート・セクターの企業に対して、個人、顧客又は従業員が、視覚、聴覚、認知及び／又は身体的な障害を持つか否かにかかわらず、デジタル・インターネット、イントラネット、エクストラネット・サービス、モバイル・アプリケーションへのアクセスができるよう保証することを要求している。各ユーザーは、差別されることなく、グループのデジタル・メディア上で容易に認識し、理解し、操作し、また、相互作用できなければならない。フランスの規制は、一般的なアクセシビリティ向上のための枠組み（Référentiel général d'amélioration de l'accessibilité）（RGAA）に基づいており、満たすべき基準を106項目列挙している。

アクセシビリティ部門は、プロジェクトに参加した21のグループ事業体のウェブサイトとモバイル・アプリケーションのコンプライアンスを確保する。その目的は、50%超の遵守率で、部分的な遵守レベルに移行することである。対象範囲の127のサイトとアプリケーションのうち、監査を受けたサイトとアプリケーションの35%が、初回の監査から50%超のアクセシビリティ率を得た。サイト及びアプリケーションの61%が監査対象であるか又は監査中である。この割合で、対象範囲の全体が３年間で監査を受ける。これは、法で要求される最大割合に相当する。ユーロ－アンフォルマシオンの購買チームによる枠組み合意の実施により、コストが最適化された。

＜中略＞

*職場における生活の質（QLW）の範囲*

グループでは、カーボンフットプリントの向上を図るための取り組みとして、従業員の通勤の適正化を図っている。このプラットフォームである7ème sens（第七感）は、2022年３月にCIC・ウエスト銀行内で試験的に運用開始され、６月にクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル全体に展開された。これにより、全ての従業員が、職場や研修コースへの通勤ルートを申請するか、又は車内の利用可能な座席若しくは逆に通勤ルート上で必要な座席の指定ができるようになる。リクエストされた通勤ルートが利用可能になった場合、従業員はアラートを受け取る。３月以降、800名超の従業員が登録し、400パターンの通勤ルートが提案されている。片道又は往復の相乗りのために約600組がマッチングされた。この結果9,600㎞と推定1.5トンの$CO_2$が削減された。

＜中略＞

**10　メディア部門のCSR方針**

＜中略＞

**10.2　メディア部門に関する特定の報告**

＜中略＞

*環境責任*

＜中略＞

・　グループの廃棄物管理方針を策定し、ペルナン（Perlen）製紙工場とのパートナーシップ締結により循環型経済を推進すること。これにより、地元で古紙が直接新聞紙にリサイクルされ、その結果経路の短縮が可能となる。

＜中略＞

**11　注意義務計画**

＜中略＞

**11.3　注意義務計画における措置**

＜中略＞

***11.3.1　社会及び環境リスクのマッピング***

＜中略＞

**３．　リスクの分類**

＜中略＞

各分野（人権、基本的自由、人の健康及び安全、環境）について、主要なリスクを特定する作業が行われた。これらのリスクは（専門家による）分析を受けており、総リスクと残余リスクの概念に基づいて二つの側面の評価が行われた。総リスク(1)は、リスクの発生確率及び頻度、並びに個別の事案が事業体の活動及び顧客に提供されるサービスに及ぼしうる影響を検討する。

＜中略＞

***11.3.3　リスクの軽減及び防止策***

＜中略＞

**１．　カスタマー・リレーションズ**

＜中略＞

**c)　ITセキュリティ管理システム**

＜中略＞

2020年度及び2021年度にはパンデミックによりサイバー攻撃が増加した。現在のリスクに関する従業員の認知を高める活動、技術的検知及び防御対策に加えて、セキュリティチーム内の組織的な対策によってセキュリティは強化されてきた。レッドチームは、潜在的なセキュリティ上の欠陥を特定し、攻撃を検知し対応する手段を検証し、「倫理的なハッカー」のビジョンを開発チームに伝えることを主な任務として設置された。

＜中略＞

**i)　事業分野におけるESG基準の統合（SOT88）**

＜中略＞

**責任ある持続可能な金融**

＜中略＞

グループ・ラ・フランセーズは、市場に開かれ、100%持続可能なファンド群を擁するという戦略的目標を追求している。グループ・ラ・フランセーズの各部門（金融資産又は不動産）では、資産の半分超が、SFDR第８条又は第９条ファンド、すなわち持続可能性基準を尊重し又は環境的・社会的業績目標を定めているファンドに分類されている。

＜中略＞

**３．　従業員との関係**

＜中略＞

**実施された措置**

＜中略＞

**b）　社内の従業員の活動による環境への直接的影響を防止すること**

2019-2023年戦略計画（アンサンブル＃ヌーボーモンド、プリュ・ヴィット、プリュ・ロワン！（ensemble#nouveaumonde, plus vite, plus loin!）（共に＃今日の世界、より速く、より遠くへ！））の一環として、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、フランスにおけるグループ内の二酸化炭素排出量を30%削減することに取り組んでいる(1)。このような背景から、体系的なエネルギー管理手法を導入している（2020年度にAFNORから発行され、2021年度に確認されたISO 50001の認証）。その活動により、紙の消費量の削減及び廃棄物のリサイクルに本質的に取り組む予防策がとられた。

＜後略＞

（２）【役員の状況】

＜訂正前＞

＜前略＞

**執行役員の報酬決定の指針**

＜中略＞

*実施*

＜中略＞

**１月１日から12月31日までにグループの主要経営陣に支払われた報酬**

**2022**

| *(金額 ユーロ)*(1) | 出身企業 | 固定部分 | 変動部分 | 現物給付(2) | 追加給付に対する企業拠出金 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ニコラ・テリ | クレディ・ミュチュエル | 880,000.08 | - | 12,342.00 | 8,617.92 | 900,960.00 |
| ダニエル・バール | クレディ・ミュチュエル | 880,000.08 | - | 4,769.40 | 8,617.92 | 893,387.40 |

*（１） 上記金額は、当該年度中の支払金に相当する総額である。*
*（２） 社用車及び／又はGSC（執行役員の失業保険）*

**2021**

| *(金額 ユーロ)*(1) | 出身企業 | 固定部分 | 変動部分 | 現物給付(2) | 追加給付に対する企業拠出金 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ニコラ・テリ | クレディ・ミュチュエル | 880,000.08 | - | 12,341.94 | 8,664.24 | 901,006.26 |
| ダニエル・バール | クレディ・ミュチュエル | 880,000.05 | - | 4,769.40 | 8,664.24 | 893,433.72 |

*（１） 上記金額は、当該年度中の支払金に相当する総額である。*
*（２） 社用車及び／又はGSC（執行役員の失業保険）*

＜後略＞

＜訂正後＞

＜前略＞

**執行役員の報酬決定の指針**

＜中略＞

*実施*

＜中略＞

**１月１日から12月31日までにグループの主要経営陣に支払われた報酬**

**2022**

| *(金額 ユーロ)*(1) | 出身企業 | 固定部分 | 変動部分 | 現物給付(2) | 追加給付に対する企業拠出金 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ニコラ・テリ | クレディ・ミュチュエル | 880,000.08 | - | 12,342.00 | 8,617.92 | 900,960.00 |
| ダニエル・バール | クレディ・ミュチュエル | 880,000.08 | - | 4,769.40 | 8,617.92 | 893,387.40 |

*（１） 上記金額は、当該年度中の支払金に相当する総額である。*
*（２） 社用車及び／又はGSC（執行役員の失業保険）*

**2021**

| *(金額 ユーロ)*(1) | 出身企業 | 固定部分 | 変動部分 | 現物給付(2) | 追加給付に対する企業拠出金 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ニコラ・テリ | クレディ・ミュチュエル | 880,000.08 | - | 12,341.94 | 8,664.24 | 901,006.26 |
| ダニエル・バール | クレディ・ミュチュエル | 880,000.08 | - | 4,769.40 | 8,664.24 | 893,433.72 |

*（１） 上記金額は、当該年度中の支払金に相当する総額である。*
*（２） 社用車及び／又はGSC（執行役員の失業保険）*

＜後略＞

# 第６【経理の状況】

## １【財務書類】

＜訂正前＞

**BFCMグループ連結財務書類**

＜中略＞

次へ

## 株主資本等変動計算書

| (百万ユーロ) | 資本金 | 株式払込剰余金 | 剰余金(1) | その他の包括利益累計額(未実現又は繰延損益) | | | | グループに帰属する当期純利益／(損失) | グループに帰属する株主資本 | 非支配持分 | 連結株主資本合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資産 | ヘッジ手段のデリバティブ | 数理計算上の利益及び損失 | | | | |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | |
| 連結当期利益 | - | - | - | - | - | - | | 2,487 | 2,487 | 356 | 2,842 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | |

## 株主資本等変動計算書

| (注)<br>(百万円)<br>(監査対象外) | 資本金 | 株式払込剰余金 | 剰余金(1) | その他の包括利益累計額(未実現又は繰延損益) | グループに帰属する当期純利益／(損失) | グループに帰属する株主資本 | 非支配持分 | 連結株主資本合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | | | |
| 連結当期利益 | - | - | - | - | - | - | | 374,418 | 374,418 | 53,596 | 427,863 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | |

次へ

# BFCMグループ連結財務書類に対する注記

＜中略＞

## 注記３ － 連結の範囲

＜中略＞

| | 国名 | 2022年12月31日 | | | 2021年12月31日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 支配割合 | 持分比率 | 方法* | 支配割合 | 持分比率 | 方法* |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| BECM Francfort (BECMの支店) | ドイツ | - | - | FC | 100 | 96 | FC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| Credit Industriel et Commercial (CIC) | フランス | 100 | 99 | FC | 100 | 99 | FC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| Crédit Mutuel Factoring | フランス | 100 | 99 | FC | - | - | NC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| CIC Hong- Kong (CICの支店) | 香港 | 100 | 99 | FC | 100 | 99 | FC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| Euro-Information | フランス | 26 | 26 | ME | 26 | 26 | ME |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| Madmoizelle | フランス | 100 | 71 | FC | - | - | FC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| SCI ACM Cotentin | フランス | 35 | 23 | ME | 35 | 23 | EM |

＜中略＞

***3c － 重要な非支配持分のある全部連結会社***

＜中略＞

*(1) グループ会社間残高及び取引の相殺消去前の金額*

*(2) IAS第32号に基づき、グループはCofidisグループ（旧Participations）に対する持分を100％に引き上げるために契約債務を認識した。相手勘定として少数株主持分の減少、また超過額部分についてはグループ持分の減少が計上された。*

| 2021年12月31日 | 連結財務書類における非支配持分の比率 | | | | 全部連結会社に関する財務情報(1) | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 持分比率／議決権比率 | 非支配持分に帰属する純利益（損失） | 非支配持分の株主資本における金額 | 非支配持分に対する支払配当金 | 財政状態計算書合計 | 当期純利益／（損失） | 潜在的な準備金 | 銀行業務純益 |
| Groupe des Assurances du Crédit Mutuel (GACM) | 34% | 295 | 3,321 | -508 | 131,499 | 834 | 1,590 | 1,810 |
| Cofidis Belgium | 20% | 3 | NA(2) | 0 | 989 | 13 | -1 | 96 |
| Cofidis France | 20% | 15 | NA(2) | 0 | 10,359 | 75 | -6 | 549 |

＜中略＞

## 注記４ － 現金及び中央銀行への預け金／中央銀行からの預り金（資産／負債）

| | 2022年12月31日 | 2021年12月31日 |
|---|---|---|
| **現金及び中央銀行への預け金-資産** | | - |

＜中略＞

## 注記５ － 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び負債

***5a － 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産***

| | 2022年12月31日 | | | | 2021年12月31日 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 売買目的 | 公正価値オプション | その他の純損益を通じた公正価値 | 合計 | 売買目的 | 公正価値オプション | その他の純損益を通じた公正価値 | 合計 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | |
| *その他の長期投資* | - | - | *231* | *231* | - | - | *209* | *209* |

＜中略＞

**純損益を通じて公正価値で認識される主な非連結会社投資のリスト**

| | - | 持分比率 | 2022年12月31日現在の公正価値 | 株主資本 | 財政状態計算書合計 | 銀行業務純益又は収益 | 当期純利益／（損失） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Bank of Africa (旧BMCE)(1) | 上場 | 30%未満 | 8,818 | 29,499 | 345,058 | 14,607 | 2,849 |
| Crédit Logement | 非上場 | 10%未満 | 747 | 1,653 | 12,402 | 222 | 120 |

＜中略＞

## 注記8 － 公正価値で財政状態計算書に計上する金融商品の公正価値ヒエラルキー

＜中略＞

| 2021年12月31日 | レベル1 | レベル2 | レベル3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **合計** | | | | |

＜中略＞

## 注記９ - 証券化商品の残高に関する詳細

＜中略＞

| 2021年12月31日におけるエクスポージャー | RMBS | CMBS | CLO | その他のABS | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| その他の包括利益を通じた公正価値 | 973 | 0 | 2,790 | 1,710 | 5,437 |

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2012年-2020年に組成 | 1,199 | 0 | 3,137 | 3,026 | 7,361 |

＜中略＞

## 注記10 - 償却原価で測定する金融資産

＜中略＞

***10b - 償却原価で測定する金融機関への貸出金及び債権***

| | 2022年12月31日 | 2021年12月31日 |
|---|---|---|

＜中略＞

| | | |
|---|---|---|
| **合計** | **0** | **57,059** |

*(1) 主にフランス預金供託金庫（Caisse des Dépôts et Consignations）（CDC）との間の未決済残高[LEP, LDD, Livret bleu, Livret A]に関連する。*

***10c - 償却原価で測定する顧客への貸出金及び債権***

＜中略＞

*(2) A2021年12月31日現在、この項目にはコロナ禍の影響を考慮した特別な減損が含まれ、2022年に戻入された。*

＜中略＞

## 注記11 - 償却原価で測定する金融負債

＜中略＞

***11d - 金融資産と金融負債の相殺***

| 2022年12月31日 | 金融資産総額 | 財政状態計算書で相殺された金融資産総額 | 財政状態計算書で表示された純額 | 財政状態計算書で相殺されない関連金額 | | | 純額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 包括相殺契約による影響 | 受取金融商品担保 | 受取現金（現金担保） | |

＜中略＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **合計** | **50,993** | **-20,560** | **30,433** | **-5,300** | **-17,888** | **-2,358** | **Net amount** |

＜中略＞

## 注記20 - 引当金及び偶発債務

＜中略＞

***20b - 退職給付及びその他の従業員給付***

退職給付に関する引当金の変動

| | 2021年12月31日 | 割引による影響 | 金融収益 | 提供した役務の費用 | その他（過去勤務費用を含む） | 仮定の変更に係る数理計算上の損益 | | 受益者への給付 | 制度への拠出金 | 移管に伴う振替 | その他 | 2022年12月31日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 従業員増 | 財務 | | | | | |

＜中略＞

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 引当金 | 909 | 11 | -4 | 49 | 0 | 6 | -354 | -41 | -8 | -4 | 13 | 676 |

＜中略＞

## 注記22 - 資本金及び剰余金

＜中略＞

***22b -未実現又は繰延損益***

| | 2022年12月31日 | 2021年12月31日 |
|---|---|---|

＜中略＞

| | | |
|---|---|---|
| - 純損益に振替えられる可能性のあるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産負債性金融商品 | -196 | -22 |
| - 純損益に振替えられることのないその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産資本性金融商品 | 69 | 75 |

＜中略＞

## 注記32 - カウンターパーティー・リスク費用

＜中略＞

| 2022年12月31日 | 繰入 | 戻入 | 年金でカバーされる貸付損失 | 引当金によりカバーされていない貸倒損失 | 過年度に償却済の貸出金の回収 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **12ヶ月の予想損失[S1]** | **-635** | **366** | **-** | **-** | **-** | **269** |
| - 償却原価で測定する金融機関への貸出金及び債権 | -3 | 2 | - | - | - | -1 |
| - 償却原価で測定する顧客への債権 | -500 | 258 | - | - | - | 242 |
| ＜中略＞ | | | | | | |
| - 付与したコミットメント | -92 | 119 | - | - | - | 99 |

＜中略＞

## 注記37 - 関連当事者取引

**関連当事者取引に関する損益項目**

| | 2022年12月31日 | | | 2021年12月31日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 関連会社（持分法適用会社） | フランス同盟に所属するその他の拠点 | Crédit Mutuel Alliance Fédéraleの親会社 | 関連会社（持分法適用会社） | フランス同盟に所属するその他の拠点 | Crédit Mutuel Alliance Fédéraleの親会社 |
| ＜中略＞ | | | | | | |
| **負債** | | | | | | |
| ＜中略＞ | | | | | | |
| **合計** | | | | **1,338** | **1,168** | **8,952** |
| ＜中略＞ | | | | | | |
| 付与された保証コミットメント | | | | 0 | 708 | 2,755 |

＜中略＞

## 注記38 - 償却原価で認識される金融商品の公正価値ヒエラルキー

＜中略＞

| 2021年12月31日 | 市場価値 | 帳簿価額 | レベル1 | レベル2 | レベル3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | |
| **償却原価で測定する保険事業による負債** | **1,181** | **1,181** | **0** | **1,181** | **0** | **1,181** |
| ＜中略＞ | | | | | | |
| 劣後債 | 1,053 | 1,053 | 0 | 1,053 | 0 | 1,053 |

＜中略＞

## 注記42 - 法定監査人への報酬

＜中略＞

| | 2021年12月31日 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | アーンスト・アンド・ヤング・エ・オートル | | プライスウォーターハウスクーパースフランス | |
| | 金額（百万ユーロ、VAT を除く） | % | 金額（百万ユーロ、VAT を除く） | % |
| **会計監査** | - | - | - | - |
| - BFCM | 0.139 | 4% | 0.252 | 6% |
| ＜中略＞ | | | | |
| **非監査業務 *** | - | - | - | - |
| - BFCM | 0.051 | 1% | 0.833 | 19% |

＜中略＞

# BFCM財務書類
# 年次財務書類

＜中略＞

| 損益計算書 | 2022年12月31日（ユーロ） | （監査対象外）2022年12月31日（円）（注） | 2021年12月31日（ユーロ） | （監査対象外）2021年12月31日（円）（注） | 注記 |
|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| +/- 一般銀行業務リスク基金及び規制準備金の繰入/戻入 | 0.00 | 0 | | 0 | 0.00 |

＜中略＞

## BFCM年次財務書類の注記

＜中略＞

## 注記２　貸借対照表注記

＜中略＞

### 2.7　劣後債

| 2021年12月31日現在の金額 | 2020年12月31日現在の金額 |
|---|---|

＜中略＞

### 2.15　有価証券ポートフォリオ：上場別の内訳

| | 2022年12月31日現在の金額 | | | 2021年12月31日現在の金額 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 上場証券の金額 | 非上場証券の金額 | 関連する債権 | 上場証券の金額 | 非上場証券の金額 | 関連する債権 |
| 政府証券及び同等物 | 7,150,018 | 0 | 53,291 | 7,800,057 | - | 54,992 |

＜中略＞

### 2.21　開業費、研究開発費及び購入のれん

| | 2022年12月31日現在の金額 | 2021年12月31日現在の金額 |
|---|---|---|
| 開業費 | | |

＜中略＞

### 2.23　未収利息又は未払利息

＜中略＞

**負債**

| | 未収利息 | 未払利息 |
|---|---|---|

＜中略＞

負債証券

＜中略＞

## BFCMグループ連結財務書類に対する注記

＜中略＞

### 注記10 - 償却原価で測定する金融資産

***10b - 償却原価で測定する金融機関への貸出金及び債権***

＜中略＞

**　主にフランス預金供託金庫（Caisse des Dépôts et Consignations）（CDC）との間の未決済残高 [LEP, LDD, Livret bleu, Livret A]に関連する。*

＜後略＞

＜訂正後＞

## BFCMグループ連結財務書類

＜中略＞

次へ

## 株主資本等変動計算書

| (百万ユーロ) | 資本金 | 株式払込剰余金 | 剰余金(1) | その他の包括利益累計額(未実現又は繰延損益) | | | | グループに帰属する当期純利益／(損失) | グループに帰属する株主資本 | 非支配持分 | 連結株主資本合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資産 | ヘッジ手段のデリバティブ | 数理計算上の利益及び損失 | | | | |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | |
| 連結当期利益 | - | - | - | - | - | - | - | 2,487 | 2,487 | 356 | 2,842 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | | | | |

## 株主資本等変動計算書

| (注)<br>(百万円)<br>(監査対象外) | 資本金 | 株式払込剰余金 | 剰余金(1) | その他の包括利益累計額(未実現又は繰延損益) | グループに帰属する当期純利益／(損失) | グループに帰属する株主資本 | 非支配持分 | 連結株主資本合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＜中略＞ | | | | | | | | |
| 連結当期利益 | - | - | - | - | - | - | - | 374,418 | 374,418 | 53,596 | 427,863 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | |

次へ

# BFCMグループ連結財務書類に対する注記

＜中略＞

## 注記３ － 連結の範囲

＜中略＞

| | 国名 | 2022年12月31日 | | | 2021年12月31日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 支配割合 | 持分比率 | 方法* | 支配割合 | 持分比率 | 方法* |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| BECM Francfort (BECMの支店) | ドイツ | - | - | FU | 100 | 96 | FC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| Crédit Industriel et Commercial (CIC) | フランス | 100 | 99 | FC | 100 | 99 | FC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| FCT Crédit Mutuel Factoring | フランス | 100 | 99 | FC | - | - | NC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| CIC Hong Kong (CICの支店) | 香港 | 100 | 99 | FC | 100 | 99 | FC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| Euro-Information | フランス | 26 | 26 | EM | 26 | 26 | EM |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| Madmoizelle | フランス | 100 | 71 | FC | - | - | NC |
| ＜中略＞ | | | | | | | |
| SCI ACM Cotentin | フランス | 35 | 23 | EM | 35 | 23 | EM |

＜中略＞

***3c － 重要な非支配持分のある全部連結会社***

＜中略＞

*(1) グループ会社間残高及び取引の相殺消去前の金額*

*(2) IAS第32号に基づき、グループはCofidisグループ（旧Participations）に対する持分を100％に引き上げるために契約債務を認識した。相手勘定として少数株主持分の減少、また超過額部分についてはグループ持分の減少が計上された。*

| 2021年12月31日 | 連結財務書類における非支配持分の比率 | | | | 全部連結会社に関する財務情報(1) | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 持分比率／議決権比率 | 非支配持分に帰属する純利益（損失） | 非支配持分の株主資本における金額 | 非支配持分に対する支払配当金 | 財政状態計算書合計 | 当期純利益／（損失） | 潜在的な準備金 | 銀行業務純益 |
| Groupe des Assurances du Crédit Mutuel (GACM) | 34% | 295 | 3,321 | -508 | 131,499 | 834 | 1,590 | 1,810 |
| Cofidis Belgium | 20% | 3 | NA(2) | 0 | 989 | 13 | -1 | 96 |
| Cofidis France | 20% | 15 | NA(2) | 0 | 10,359 | 75 | -6 | 549 |

＜中略＞

## 注記４ － 現金及び中央銀行への預け金／中央銀行からの預り金（資産／負債）

| | 2022年12月31日 | 2021年12月31日 |
|---|---|---|
| **現金及び中央銀行への預け金-資産** | - | - |

＜中略＞

## 注記５ － 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び負債

***5a － 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産***

| | 2022年12月31日 | | | | 2021年12月31日 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 売買目的 | 公正価値オプション | その他の純損益を通じた公正価値 | 合計 | 売買目的 | 公正価値オプション | その他の純損益を通じた公正価値 | 合計 |
| ＜中略＞ | | | | | | | | |
| *その他の長期投資* | - | - | *166* | *166* | - | - | *209* | *209* |

＜中略＞

**純損益を通じて公正価値で認識される主な非連結会社投資のリスト**

| | - | 持分比率 | 2022年12月31日現在の公正価値 | 株主資本 | 財政状態計算書合計 | 銀行業務純益又は収益 | 当期純利益／（損失） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Bank of Africa (旧BMCE)(1) | 上場 | 30%未満 | 8,818 | 29,499 | 345,058 | 14,607 | 2,849 |
| Crédit Logement | 非上場 | 10%未満 | 74 | 1,653 | 12,402 | 222 | 120 |

＜中略＞

## 注記8 － 公正価値で財政状態計算書に計上する金融商品の公正価値ヒエラルキー

＜中略＞

| 2021年12月31日 | レベル1 | レベル2 | レベル3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| | ＜中略＞ | | | |
| **合計** | **29,787** | **19,244** | **7,054** | **56,085** |

＜中略＞

## 注記９ - 証券化商品の残高に関する詳細

＜中略＞

| 2021年12月31日におけるエクスポージャー | RMBS | CMBS | CLO | その他のABS | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ＜中略＞ | | | |
| その他の包括利益を通じた公正価値 | 973 | 0 | 2,790 | 1,710 | 5,473 |
| | | ＜中略＞ | | | |
| 2012年-2021年に組成 | 1,199 | 0 | 3,137 | 3,026 | 7,361 |

＜中略＞

## 注記10 - 償却原価で測定する金融資産

＜中略＞

***10b - 償却原価で測定する金融機関への貸出金及び債権***

| | 2022年12月31日 | 2021年12月31日 |
|---|---|---|
| | ＜中略＞ | |
| **合計** | **57,969** | **57,059** |

*(1) 主にフランス預金供託公庫（Caisse des Dépôts et Consignations）（CDC）との間の未決済残高[LEP, LDD, Livret bleu, Livret A]に関連する。*

***10c - 償却原価で測定する顧客への貸出金及び債権***

＜中略＞

*(2) 2021年12月31日現在、この項目にはコロナ禍の影響を考慮した特別な減損が含まれ、2022年に戻入された。*

＜中略＞

## 注記11 - 償却原価で測定する金融負債

＜中略＞

***11d - 金融資産と金融負債の相殺***

| 2022年12月31日 | 金融資産総額 | 財政状態計算書で相殺された金融資産総額 | 財政状態計算書で表示された純額 | 財政状態計算書で相殺されない関連金額 | | | 純額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 包括相殺契約による影響 | 受取金融商品担保 | 受取現金（現金担保） | |
| | | | ＜中略＞ | | | | |
| **合計** | **50,993** | **-20,560** | **30,433** | **-5,300** | **-17,888** | **-2,358** | **4,887** |

＜中略＞

## 注記20 - 引当金及び偶発債務

＜中略＞

***20b - 退職給付及びその他の従業員給付***

退職給付に関する引当金の変動

| | 2021年12月31日 | 割引による影響 | 金融収益 | 提供した役務の費用 | その他（過去勤務費用を含む） | 仮定の変更に係る数理計算上の損益 | | 受益者への給付 | 制度への拠出金 | 移管に伴う振替 | その他 | 2022年12月31日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 従業員増 | 財務 | | | | | |
| | | | | | | ＜中略＞ | | | | | | |
| 引当金 | 909 | 11 | -4 | 49 | 0 | 6 | -354 | -41 | -8 | -4 | 13 | 576 |

＜中略＞

## 注記22 - 資本金及び剰余金

＜中略＞

***22b -未実現又は繰延損益***

| | 2022年12月31日 | 2021年12月31日 |
|---|---|---|
| | ＜中略＞ | |
| - 純損益に振替えられる可能性のあるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ー負債性金融商品 | -196 | -22 |
| - 純損益に振替えられることのないその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産ー資本性金融商品 | 69 | 75 |

＜中略＞

## 注記32 - カウンターパーティー・リスク費用

＜中略＞

| 2022年12月31日 | 繰入 | 戻入 | 年金でカバーされる貸付損失 | 引当金によりカバーされていない貸倒損失 | 過年度に償却済の貸出金の回収 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **12ヶ月の予想損失[S1]** | **-635** | **366** | **-** | **-** | **-** | **-269** |
| - 償却原価で測定する金融機関への貸出金及び債権 | -3 | 2 | - | - | - | -1 |
| - 償却原価で測定する顧客への債権 | -500 | 258 | - | - | - | -242 |

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| - 付与したコミットメント | -92 | 191 | - | - | - | 99 |

＜中略＞

## 注記37 - 関連当事者取引

**関連当事者取引に関する損益項目**

| | 2022年12月31日 | | | 2021年12月31日 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 関連会社（持分法適用会社） | フランス同盟に所属するその他の拠点 | Crédit Mutuel Alliance Fédéraleの親会社 | 関連会社（持分法適用会社） | フランス同盟に所属するその他の拠点 | Crédit Mutuel Alliance Fédéraleの親会社 |

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **負債** | | | | | | |

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **合計** | **1,283** | **725** | **14,674** | **1,338** | **1,168** | **8,952** |

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 付与された保証コミットメント | 0 | 720 | 2,238 | 0 | 708 | 2,755 |

＜中略＞

## 注記38 - 償却原価で認識される金融商品の公正価値ヒエラルキー

＜中略＞

| 2021年12月31日 | 市場価値 | 帳簿価額 | レベル1 | レベル2 | レベル3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **償却原価で測定する保険事業による負債** | **1,181** | **1,181** | **1,053** | **128** | **0** | **1,181** |

＜中略＞

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 劣後債 | 1,053 | 1,053 | 1,053 | 0 | 0 | 1,053 |

＜中略＞

## 注記42 - 法定監査人への報酬

＜中略＞

| | 2021年12月31日 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | アーンスト・アンド・ヤング・エ・オートル | | プライスウォーターハウスクーパースフランス | |
| | 金額（百万ユーロ、VAT を除く） | % | 金額（百万ユーロ、VAT を除く） | % |
| **会計監査** | - | - | - | - |
| - BFCM | 0.139 | 4% | 0.25 | 6% |

＜中略＞

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **非監査業務 *** | - | - | - | - |
| - BFCM | 0.051 | 1% | 0.83 | 19% |

＜中略＞

# BFCM財務書類
# 年次財務書類

＜中略＞

| 損益計算書 | 2022年12月31日（ユーロ） | （監査対象外）2022年12月31日（円）（注） | 2021年12月31日（ユーロ） | （監査対象外）2021年12月31日（円）（注） | 注記 |
|---|---|---|---|---|---|

＜中略＞

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| +/- 一般銀行業務リスク基金及び規制準備金の繰入/戻入 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |

＜中略＞

# BFCM年次財務書類の注記

＜中略＞

**注記２　貸借対照表注記**

＜中略＞

**2.7　劣後債**

| | 2022年12月31日現在の金額 | 2021年12月31日現在の金額 |
|---|---|---|

＜中略＞

**2.15　有価証券ポートフォリオ：上場別の内訳**

| | 2022年12月31日現在の金額 | | | 2021年12月31日現在の金額 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 上場証券の金額 | 非上場証券の金額 | 関連する債権 | 上場証券の金額 | 非上場証券の金額 | 関連する債権 |
| 政府証券及び同等物 | 7,150,018 | 0 | 53,291 | 7,800,057 | 0 | 54,992 |

＜中略＞

**2.21　開業費、研究開発費及び購入のれん**

| | 2022年12月31日現在の金額 | 2021年12月31日現在の金額 |
|---|---|---|
| 開業費 | - | - |

＜中略＞

**2.23　未収利息又は未払利息**

＜中略＞

**負債**

| | 未収利息 | 未払利息 |
|---|---|---|

＜中略＞

| | | |
|---|---|---|
| 負債証券 | - | - |

＜中略＞

# BFCMグループ連結財務書類に対する注記

＜中略＞

**注記10 - 償却原価で測定する金融資産**

***10b - 償却原価で測定する金融機関への貸出金及び債権***

＜中略＞

**　主にフランス預金供託公庫（Caisse des Dépôts et Consignations）（CDC）との間の未決済残高　[LEP, LDD, Livret bleu, Livret A]に関連する。*

＜後略＞